

## 第5号議案

2023年度全国及び供給区域ごとの需要想定の方定について

(案)

業務規程第23条の規定に基づき、全ての一般送配電事業者から別紙1のとおり供給区域需要の想定の提出を受けるとともに、全供給区域需要の想定の妥当性を確認したことから、その合計からなる全国の需要想定を別紙2のとおり策定し、別紙1・2を本機関ウェブサイトで公表する。

(公表予定日：2023年1月25日)

以上

### 【別紙】

別紙1：一般送配電事業者から提出を受けた供給区域需要の想定

別紙2：全国及び供給区域ごとの需要想定（2023年度）

S-1 供給区域需要想定(年度)

(事業者名) 北海道ネットワーク株式会社

供給区域 北海道

2023 年度

	推定実績 (補正なし)	推定実績 (気象間補正後)	推定実績 (気象補正後)	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	平均増減率(%) (参考)
年度	2022	2022	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2022年度対比 (気象補正後)
最大需要電力(送電端)夏季 MW	3,929	—	4,100	4,160	4,170	4,170	4,170	4,170	4,170	4,170	4,170	4,170	4,170	0.2
最大需要電力(送電端)冬季 MW	4,990	—	4,990	4,980	4,990	4,990	4,990	4,990	4,990	4,990	4,990	4,990	4,990	0.0
年負荷率 夏季 %	87.7	—	83.8	83.4	83.4	83.3	83.3	83.3	83.3	83.3	83.2	83.4	83.3	—
年負荷率 冬季 %	69.1	—	68.9	69.7	69.7	69.6	69.6	69.6	69.6	69.6	69.5	69.7	69.6	—
需要電力量合計(送電端) GWh	30,200	—	30,104	30,473	30,456	30,443	30,434	30,509	30,413	30,411	30,377	30,538	30,425	0.1
送配電損失率 %	5.7	—	5.6	5.7	5.7	5.7	5.7	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	—
需要電力量合計(需要端) GWh	28,492	—	28,431	28,741	28,729	28,719	28,713	28,786	28,696	28,696	28,666	28,824	28,718	0.1
変電所内内用電力量 GWh	61	—	61	59	59	59	59	60	59	59	59	60	59	-0.3
需要電力量合計(使用端) GWh	28,431	—	28,370	28,682	28,670	28,660	28,654	28,726	28,637	28,637	28,607	28,764	28,659	0.1
家庭用その他 GWh	12,674	—	12,661	12,817	12,728	12,661	12,606	12,595	12,507	12,463	12,407	12,396	12,308	-0.3
業務用 GWh	7,859	—	7,811	8,038	8,068	8,118	8,161	8,216	8,231	8,271	8,295	8,342	8,345	0.7
産業用その他 GWh	7,898	—	7,898	7,827	7,874	7,881	7,887	7,915	7,899	7,903	7,905	8,026	8,006	0.1
原単位(家庭用その他) kWh/口	3,102	—	3,099	3,138	3,115	3,101	3,089	3,086	3,067	3,057	3,047	3,046	3,030	-0.2
口数(家庭用その他) 千口	4,086	—	4,086	4,085	4,086	4,083	4,081	4,081	4,078	4,077	4,072	4,069	4,062	-0.1
人口/口数 人/口	1.26	—	1.26	1.25	1.24	1.23	1.22	1.21	1.20	1.18	1.17	1.16	1.15	—
夏季需要 MW		—				—	—	—	—	—	—	—	—	
ベース需要 MW		—				—	—	—	—	—	—	—	—	
冬季需要 MW		—				—	—	—	—	—	—	—	—	
ベース需要 MW		—				—	—	—	—	—	—	—	—	
備考														

## S-2 供給区域需要想定(第1、2年度)

(事業者名) 北海道電力ネットワーク株式会社

供給区域 北海道

2023 年度

(第1年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	3,970	3,550	3,560	4,090	4,160	3,870	3,900	4,440	4,810	4,980	4,950	4,530
	需要電力量合計(送電端)	GWh	2,365	2,189	2,088	2,292	2,370	2,163	2,310	2,555	3,100	3,200	2,969	2,872
	需要電力量合計(使用端)	GWh	2,440	2,207	1,947	2,135	2,179	2,085	2,106	2,281	2,660	3,155	2,784	2,703
	家庭用その他	GWh	1,198	1,006	764	820	856	844	834	976	1,181	1,670	1,361	1,307
	業務用	GWh	624	590	578	634	670	593	614	667	779	804	748	737
	産業用その他	GWh	618	611	605	681	653	648	658	638	700	681	675	659

(第2年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	3,980	3,560	3,570	4,100	4,170	3,880	3,910	4,450	4,820	4,990	4,960	4,540

供給区域 北海道

2023 年度		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
短期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	・8月送電端電力量からH3日量を算出し、日負荷率を乗じて想定 ・日負荷率等は、至近年平均値を使用	気温補正後	(送電端電力量の月配分比率) 2017~2021[2018・2020は除外]  (H3日平均電力量比率・H3日負荷率) 2017 ~ 2021			至近5年平均	<観測期間における2018・2020年度除外可否について> ・年間送電端電力量に対する1・8月送電端電力量比率については、2018年度の北海道胆振東部地震および2020年度上期の緊急事態宣言(外出自粛要請や産業用のサプライチェーン寸断の影響)により、月別比率に歪みが生じていると判断し、これを除外。 ・H3日平均電力量比率やH3日負荷率については、2018・2020年度とそれ以外で大きな差異が見られなかった(通常の変動の範囲内)ため、除外は行わない。	
		夏季需要			~					
		ベース需要			~					
		その他			~					
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	・1月送電端電力量からH3日量を算出し、日負荷率を乗じて想定 ・日負荷率等は、過去年平均値を使用	気温補正後	(送電端電力量の月配分比率) 2017~2021[2018・2020は除外]  (H3日平均電力量比率・H3日負荷率) 2017 ~ 2021				至近5年平均	<観測期間における2018・2020年度除外可否について> ・年間送電端電力量に対する1・8月送電端電力量比率については、2018年度の北海道胆振東部地震および2020年度上期の緊急事態宣言(外出自粛要請や産業用のサプライチェーン寸断の影響)により、月別比率に歪みが生じていると判断し、これを除外。 ・H3日平均電力量比率やH3日負荷率については、2018・2020年度とそれ以外で大きな差異が見られなかった(通常の変動の範囲内)ため、除外は行わない。
		冬季需要			~					
		ベース需要			~					
		その他			~					
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数×口数原単位により想定		~					
		家庭用その他(口数)	北海道人口を一口当たり人口で除して想定		~		人口			
		家庭用その他(一口当たり人口)	時系列傾向により想定		2013 ~ 2022	0.997		$Y=-0.010X+1.363$	Y:一口あたり人口 X:時系列	乖離差補正(2022)
		家庭用その他(原単位)	時系列傾向により想定	気温閏補正後	2013 ~ 2022	0.912		$Y=-166.382\log(X)+3528.210$	Y:口数原単位 X:時系列	
業務用		GDP見通しにGDP原単位見通し(時系列傾向により想定)を乗じて想定	気温閏補正後	2013 ~ 2022	0.818	GDP	$Y=-0.555\log(X)+15.862$	Y:GDP原単位 X:時系列		
産業用その他		IIP相関により想定し、停止中所内電力量相当を加算	気温閏補正後	2013 ~ 2022	0.827	IIP	$Y=22.477X+5433.484$	Y:電力量 X:IIP	別途想定した停止中所内電力量を加算	

			想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
長期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	・8月送電端電力量からH3日量を算出し、日負荷率を乗じて想定 ・日負荷率等は、至近年平均値を使用	気温補正後	(送電端電力量の月配分比率) 2017～2021[2018・2020は除外]  (H3日平均電力量比率・H3日負荷率) 2017～2021			至近5年平均		<観測期間における2018・2020年度除外可否について> ・年間送電端電力量に対する1・8月送電端電力量比率については、2018年度の北海道胆振東部地震および2020年度上期の緊急事態宣言(外出自粛要請や産業用のサプライチェーン寸断の影響)により、月別比率に歪みが生じていると判断し、これを除外。 ・H3日平均電力量比率やH3日負荷率については、2018・2020年度とそれ以外で大きな差異が見られなかった(通常の変動の範囲内)ため、除外は行わない。	
		夏季需要			～						
		ベース需要			～						
		その他			～						
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	・1月送電端電力量からH3日量を算出し、日負荷率を乗じて想定 ・日負荷率等は、過去年平均値を使用	気温補正後	(送電端電力量の月配分比率) 2017～2021[2018・2020は除外]  (H3日平均電力量比率・H3日負荷率) 2017～2021			至近5年平均		<観測期間における2018・2020年度除外可否について> ・年間送電端電力量に対する1・8月送電端電力量比率については、2018年度の北海道胆振東部地震および2020年度上期の緊急事態宣言(外出自粛要請や産業用のサプライチェーン寸断の影響)により、月別比率に歪みが生じていると判断し、これを除外。 ・H3日平均電力量比率やH3日負荷率については、2018・2020年度とそれ以外で大きな差異が見られなかった(通常の変動の範囲内)ため、除外は行わない。	
		冬季需要			～						
		ベース需要			～						
		その他			～						
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	家庭用その他	口数×口数原単位により想定		～					
			家庭用その他(口数)	北海道人口を一口当たり人口で除して想定		～		人口			
			家庭用その他(一口当たり人口)	時系列傾向により想定		2013～2022	0.997		$Y=-0.010X+1.363$	Y:一口あたり人口 X:時系列	乖離差補正(2022)
			家庭用その他(原単位)	時系列傾向により想定	気温閏補正後	2013～2022	0.912		$Y=-166.382\log(X)+3528.210$	Y:口数原単位 X:時系列	
業務用		GDP見通しにGDP原単位見通し(時系列傾向により想定)を乗じて想定	気温閏補正後	2013～2022	0.818	GDP	$Y=-0.555\log(X)+15.862$	Y:GDP原単位 X:時系列			
産業用その他		IIP相関により想定し、停止中所内電力量相当を加算	気温閏補正後	2013～2022	0.827	IIP	$Y=22.477X+5433.484$	Y:電力量 X:IIP	別途想定した停止中所内電力量を加算 別途想定した北海道新幹線札幌延伸影響を加算 (2031年以降)		

		想定方法							備考	
中間期	最大需要電力(送電端)夏季	年間送電端電力量から8月送電端電力量、H3日量を算出し、日負荷率を乗じて想定								
	最大需要電力(送電端)冬季	年間送電端電力量から1月送電端電力量、H3日量を算出し、日負荷率を乗じて想定								
	負荷率	送電端電力量の月配分比率:至近5年(2017~2021年度[2018・2020は除外])の平均を使用 H3日平均電力量比率:至近5年(2017~2021年度)の平均を使用 H3日負荷率:至近5年(2017~2021年度)の平均を使用								
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数×口数原単位により想定		~					<p>&lt;観測期間における2018・2020年度除外可否について&gt;</p> <p>・年間送電端電力量に対する1・8月送電端電力量比率については、2018年度の北海道胆振東部地震および2020年度上期の緊急事態宣言(外出自粛要請や産業用のサプライチェーン寸断の影響)により、月別比率に歪みが生じていると判断し、これを除外。</p> <p>・H3日平均電力量比率やH3日負荷率については、2018・2020年度とそれ以外で大きな差異が見られなかった(通常の変動の範囲内)ため、除外は行わない。</p>
		家庭用その他(口数)	北海道人口を一口当たり人口で除して想定		~			人口		
		家庭用その他(一口当たり人口)	時系列傾向により想定		2013 ~ 2022	0.997		$Y=-0.010X+1.363$	Y:一口あたり人口 X:時系列	
		家庭用その他(原単位)	時系列傾向により想定		気温閏補正後	2013 ~ 2022	0.912		$Y=-166.382\log(X)+3528.210$	
業務用		GDP見通しにGDP原単位見通し(時系列傾向により想定)を乗じて想定		気温閏補正後	2013 ~ 2022	0.818	GDP	$Y=-0.555\log(X)+15.862$	Y:GDP原単位 X:時系列	
産業用その他	IIP相関により想定し、停止中所内電力量相当を加算		気温閏補正後	2013 ~ 2022	0.827	IIP	$Y=22.477X+5433.484$	Y:電力量 X:IIP		
第1年度 各月	最大需要電力(送電端)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上期は、夏季最大電力(8月)に、各月の対8月比率(2017~2022年度[2018・2020除く]の気象補正後実績から設定)を乗じて想定</li> <li>・下期は、冬季最大電力(1月)に、各月の対1月比率(2017~2021年度[2020除く]の気象補正後実績から設定)を乗じて想定</li> </ul>								
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	年度想定値に各月比率(2017~2021年度の気象補正後実績により設定)を乗じて想定							
		業務用	年度想定値に各月比率(2017~2021年度[2018・2020年度を除く]の気象補正後実績により設定)を乗じて想定							
		産業用その他	年度想定値に各月比率(2017~2021年度[2018・2020年度を除く]の気象補正後実績により設定)を乗じて想定							
第2年度 各月	最大需要電力(送電端)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上期は、夏季最大電力(8月)に、各月の対8月比率(2017~2022年度[2018・2020除く]の気象補正後実績から設定)を乗じて想定</li> <li>・下期は、冬季最大電力(1月)に、各月の対1月比率(2017~2021年度[2020除く]の気象補正後実績から設定)を乗じて想定</li> </ul>								

供給区域 東北

2023 年度

年度	推定実績 (補正なし)	推定実績 (気象閾補正後)	推定実績 (気象補正後)	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	平均増減率(% (参考))
	2022	2022	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2022年度対比 (気象補正後)
最大需要電力(送電端)夏季 MW	13,592	—	13,395	13,380	13,340	13,300	13,250	13,200	13,150	13,110	13,060	13,010	12,960	-0.3
最大需要電力(送電端)冬季 MW	13,720	—	13,720	13,690	13,660	13,610	13,560	13,510	13,460	13,420	13,360	13,310	13,270	-0.3
年負荷率 夏季 %	69.5	—	70.2	70.1	70.1	70.1	70.1	70.1	70.1	70.1	70.1	70.1	70.1	—
年負荷率 冬季 %	68.9	—	68.5	68.5	68.5	68.5	68.5	68.5	68.5	68.5	68.5	68.5	68.5	—
需要電力量合計(送電端) GWh	82,756	—	82,327	82,388	81,959	81,673	81,388	81,321	80,804	80,507	80,210	80,129	79,609	-0.3
送配電損失率 %	5.6	—	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	—
需要電力量合計(需要端) GWh	78,126	—	77,721	77,779	77,374	77,105	76,836	76,773	76,285	76,005	75,725	75,649	75,158	-0.3
変電所内用電力量 GWh	87	—	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87	0.0
需要電力量合計(使用端) GWh	78,039	—	77,634	77,692	77,287	77,018	76,749	76,686	76,198	75,918	75,638	75,562	75,071	-0.3
家庭用その他 GWh	27,447	—	27,278	27,173	26,940	26,710	26,481	26,324	26,023	25,795	25,570	25,415	25,122	-0.8
業務用 GWh	16,015	—	15,779	15,787	15,655	15,566	15,480	15,434	15,303	15,213	15,122	15,071	14,937	-0.5
産業用その他 GWh	34,577	—	34,577	34,732	34,692	34,742	34,788	34,928	34,872	34,910	34,946	35,076	35,012	0.1
原単位(家庭用その他) kWh/口	3,427	—	3,406	3,390	3,355	3,330	3,305	3,288	3,254	3,229	3,204	3,187	3,153	-0.8
口数(家庭用その他) 千口	8,009	—	8,009	8,016	8,029	8,021	8,013	8,005	7,997	7,989	7,982	7,975	7,968	-0.1
人口/口数 人/口	1.32	—	1.32	1.31	1.29	1.28	1.27	1.25	1.24	1.23	1.21	1.20	1.19	—
夏季需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベース需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
冬季需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベース需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
備考														

供給区域 東北

2023 年度

(第1年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端) MW	10,850	10,120	10,840	13,120	13,380	11,800	10,330	11,610	13,050	13,690	13,650	12,290
	需要電力量合計(送電端) GWh	6,461	5,734	6,149	6,796	6,711	6,061	6,074	6,660	8,022	8,314	8,014	7,392
	需要電力量合計(使用端) GWh	6,576	5,747	5,654	6,079	6,364	6,003	5,632	6,017	6,838	7,939	7,609	7,234
	家庭用その他 GWh	2,584	1,944	1,569	1,765	2,020	1,851	1,646	1,981	2,473	3,388	3,124	2,828
	業務用 GWh	1,252	1,097	1,154	1,284	1,356	1,263	1,128	1,208	1,449	1,584	1,554	1,458
	産業用その他 GWh	2,740	2,706	2,931	3,030	2,988	2,889	2,858	2,828	2,916	2,967	2,931	2,948

(第2年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端) MW	10,810	10,090	10,800	13,080	13,340	11,770	10,310	11,580	13,020	13,660	13,620	12,260



供給区域 東北

2023 年度		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
短期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	日負荷率の過去実績平均	補正なし	2018 ~ 2022	-	-	-	-	
		夏季需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
		ベース需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
		その他	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	日負荷率の過去実績平均	補正なし	2018 ~ 2021	-	-	-	-	
		冬季需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
		ベース需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
		その他	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数 × 原単位	-	- ~ -	-	-	-	-	
			家庭用その他(口数)	人口/一口当たり人口	-	- ~ -	-	人口	-	-
		家庭用その他(一口当たり人口)	時系列相関	-	2008 ~ 2022	0.980	-	$Y=1.586*0.988^X - 0.012$	Y=一口当たり人口 X=時系列	観測期間から2011~2012年度を除く
		家庭用その他(原単位)	時系列相関	気温閏補正後	2013 ~ 2022	0.803	-	$Y=-25.298X+3,658.875$	Y=口数原単位 X=時系列	観測期間から2020年度を除く
		業務用	GDP・人口相関	気温閏補正後	2016 ~ 2022	0.770	GDP 人口	$Y=0.3*(X1)+8.085*(X2)+7,113.824$	Y=電力量 X1=GDP X2=人口	観測期間から2020年度を除く
		産業用その他	時系列相関	閏補正後	2013 ~ 2022	0.466	-	$Y=628.215Ln(X)+33,130.482$	Y=電力量 X=時系列	観測期間から2020年度を除く

		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考		
長期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	日負荷率の過去実績平均	補正なし	2018 ~ 2022	-	-	-	-		
		夏季需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-		
		ベース需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-		
		その他	-	-	- ~ -	-	-	-	-		
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	日負荷率の過去実績平均	補正なし	2018 ~ 2021	-	-	-	-		
		冬季需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-		
		ベース需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-		
		その他	-	-	- ~ -	-	-	-	-		
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数 × 原単位	-	- ~ -	-	-	-	-		
			家庭用その他(口数)	人口 / 一口当たり人口	-	- ~ -	-	人口	-	-	
			家庭用その他(一口当たり人口)	時系列相関	-	2008 ~ 2022	0.980	-	$Y=1.586*0.988^X$	Y=一口当たり人口 X=時系列	観測期間から2011~2012年度を除く
			家庭用その他(原単位)	時系列相関	気温閏補正後	2013 ~ 2022	0.803	-	$Y=-25.298X+3,658.875$	Y=口数原単位 X=時系列	観測期間から2020年度を除く
		業務用	GDP・人口相関	気温閏補正後	2016 ~ 2022	0.770	GDP 人口	$Y=0.3*(X1)+8.085*(X2)+7,113.824$	Y=電力量 X1=GDP X2=人口	観測期間から2020年度を除く	
		産業用その他	時系列相関	閏補正後	2013 ~ 2022	0.466	-	$Y=628.215Ln(X)+33,130.482$	Y=電力量 X=時系列	観測期間から2020年度を除く	

		想定方法	備考	
中間期	最大需要電力(送電端)夏季	第3～9年度は長期想定式(短期式と同一)に基づき想定		
	最大需要電力(送電端)冬季	第3～9年度は長期想定式(短期式と同一)に基づき想定		
	負荷率	—		
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数 × 原単位	
		家庭用その他(口数)	人口／一口当たり人口	
		家庭用その他(一口当たり人口)	第3～9年度は長期回帰式に基づき想定	第3～9年度は差分補正あり
		家庭用その他(原単位)	第3～9年度は長期想定回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定	
業務用		第3～9年度は長期想定回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定		
産業用その他	第3～9年度は長期想定回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定			
第1年度 各月	最大需要電力(送電端)	過去実績にもとづき算定		
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	過去実績にもとづき算定	
		業務用	過去実績にもとづき算定	
		産業用その他	過去実績にもとづき算定	
第2年度 各月	最大需要電力(送電端)	過去実績にもとづき算定		

供給区域 東京

2023 年度

		推定実績 (補正なし)	推定実績 (気象間補正後)	推定実績 (気象補正後)	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	平均増減率(%) (参考)	
年度		2022	2022	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2022年度対比 (気象補正後)
最大需要電力(送電端)夏季	MW	58,543	—	53,727	54,990	55,140	55,090	55,030	54,960	54,900	54,830	54,750	54,670	54,590	0.2
最大需要電力(送電端)冬季	MW		—												
年負荷率 夏季	%	55.3	—	59.1	57.7	57.7	57.7	57.7	57.7	57.7	57.7	57.7	57.7	57.7	—
年負荷率 冬季	%		—												—
需要電力量合計(送電端)	GWh	283,350	—	277,971	278,808	278,852	278,609	278,281	278,723	277,624	277,262	276,882	277,239	276,063	-0.1
送配電損失率	%	4.7	—	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	—
需要電力量合計(需要端)	GWh	270,153	—	265,871	266,745	266,797	266,554	266,240	266,663	265,611	265,265	264,901	265,243	264,117	-0.1
変電所内用電力量	GWh	401	—	401	402	401	401	401	402	401	401	401	402	401	0.0
需要電力量合計(使用端)	GWh	269,752	—	265,470	266,343	266,396	266,153	265,839	266,261	265,210	264,864	264,500	264,841	263,716	-0.1
家庭用その他	GWh	103,503	—	100,571	100,332	99,550	98,980	98,337	97,971	97,051	96,377	95,683	95,231	94,239	-0.6
業務用	GWh	77,378	—	76,028	76,567	76,685	76,876	77,068	77,472	77,452	77,644	77,837	78,244	78,223	0.3
産業用その他	GWh	88,871	—	88,871	89,444	90,161	90,297	90,434	90,818	90,707	90,843	90,980	91,366	91,254	0.3
原単位(家庭用その他)	kWh/口	3,334	—	3,239	3,223	3,191	3,171	3,150	3,139	3,110	3,090	3,070	3,058	3,030	-0.7
口数(家庭用その他)	千口	31,047	—	31,047	31,132	31,197	31,214	31,218	31,215	31,206	31,190	31,167	31,138	31,102	0.0
人口/口数	人/口	1.46	—	1.46	1.46	1.45	1.45	1.45	1.44	1.44	1.43	1.43	1.42	1.42	—
夏季需要	MW		—												
ベース需要	MW		—												
冬季需要	MW		—												
ベース需要	MW		—												
備考															

## S-2 供給区域需要想定(第1、2年度)

(事業者名) 東京電力パワーグリッド株式会社

## 供給区域

2023 年度

(第1年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	38,460	37,170	42,810	54,990	54,990	46,500	38,270	40,200	44,690	48,840	48,840	43,370
	需要電力量合計(送電端)	GWh	20,522	20,307	21,375	24,791	25,671	22,253	21,185	21,613	25,362	26,865	24,992	23,872
	需要電力量合計(使用端)	GWh	21,073	19,341	20,216	22,541	24,283	23,198	20,511	19,974	21,967	24,900	25,048	23,291
	家庭用その他	GWh	8,109	6,648	6,389	7,540	8,739	8,392	6,949	6,962	8,543	11,245	11,087	9,729
	業務用	GWh	5,870	5,653	6,149	6,844	7,548	6,992	6,062	5,765	6,156	6,591	6,687	6,250
	産業用その他	GWh	7,094	7,040	7,678	8,157	7,996	7,814	7,500	7,247	7,268	7,064	7,274	7,312

(第2年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	38,590	37,300	42,960	55,140	55,140	46,650	38,390	40,330	44,800	48,950	48,950	43,490

供給区域 東京

2023 年度		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
短期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	「8月送電端電力量」、「最大3日日量比率」、「日負荷率」などの想定諸元から想定し、気温影響量を足し上げて算出。	~					停止中所内電力量等を控除した電力量より想定。	
		夏季需要		~						
		ベース需要		~						
		その他		~						
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率		~						
		冬季需要		~						
		ベース需要		~						
		その他		~						
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	家庭用その他(口数)に家庭用その他(原単位)を乗じて算出。	~						
		家庭用その他(口数)	人口/(人口/口数)により想定。	-	~					
		家庭用その他(一口当たり人口)	時系列相関 平方根	-	2013 ~ 2022	0.962		$Y = -0.038 * \text{SQRT}(X) + 1.592$	X: 時系列	乖離差補正
		家庭用その他(原単位)	時系列相関 平方根	気温閾補正後	2013 ~ 2019	0.955		$Y = -159.635 * \text{SQRT}(X) + 3683.499$	X: 時系列	乖離差補正
業務用		GDP・時系列(平方根)との重相関	気温閾補正後	2014 ~ 2022	0.966	GDP	$Y = 0.117 * (X1) - 1973.978 * \text{SQRT}(X2) + 17988.344$	Y: 電力量 X1: GDP X2: 時系列	乖離差補正	
産業用その他		IIP・時系列(実数1次)との重相関 ※停止中所内電力量等を加算	閾補正後	2015 ~ 2022	0.985	IIP	$Y = 481.123 * (X1) - 453.438 * (X2) + 44642.862$	Y: 電力量 X1: IIP X2: 時系列		

		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
長期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	「8月送電端電力量」、「最大3日日量比率」、「日負荷率」などの想定諸元から想定し、気温影響量を足し上げて算出。	~					停止中所内電力量等を控除した電力量より想定。	
		夏季需要		~						
		ベース需要		~						
		その他		~						
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率		~						
		冬季需要		~						
		ベース需要		~						
		その他		~						
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	家庭用その他(口数)に家庭用その他(原単位)を乗じて算出。	~						
		家庭用その他(口数)	人口/(人口/口数)により想定。	~						
		家庭用その他(一口当たり人口)	時系列相関 平方根	-	2013 ~ 2022	0.962		$Y = -0.038 * \text{SQRT}(X) + 1.592$	X: 時系列	
		家庭用その他(原単位)	時系列相関 平方根	気温閏補正後	2013 ~ 2019	0.955		$Y = -159.635 * \text{SQRT}(X) + 3683.499$	X: 時系列	乖離差補正
		業務用	GDP・時系列(平方根)との重相関	気温閏補正後	2014 ~ 2022	0.966	GDP	$Y = 0.117 * (X1) - 1973.978 * \text{SQRT}(X2) + 17988.344$	Y: 電力量 X1: GDP X2: 時系列	乖離差補正
		産業用その他	IIP・時系列(対数)との重相関 ※停止中所内電力量等を加算	閏補正後	2015 ~ 2022	0.993	IIP	$Y = 514.553 * (X1) - 1501.126 * \text{LN}(X2) + 41289.202$	Y: 電力量 X1: IIP X2: 時系列	

		想定方法	備考	
中間期	最大需要電力(送電端)夏季	2024年度と2032年度の年負荷率(気温補正後ベース)を等差・等比平均で接続し、送電端電力量(気温補正後)に乗じて算出。		
	最大需要電力(送電端)冬季			
	負荷率			
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	家庭用その他(口数)に家庭用その他(原単位)を乗じて算出。	
		家庭用その他(口数)	人口/(人口/口数)により想定。	
		家庭用その他(一口当たり人口)	2024年度と2032年度の一口当たり人口を等差・等比平均で接続。	
		家庭用その他(原単位)	2024年度と2032年度の原単位を等差・等比平均で接続。	
業務用		2024年度と2032年度の想定値を等差・等比平均で接続。		
産業用その他	2024年度と2032年度の想定値を等差・等比平均で接続し、停止中所内電力量等を加算。			
第1年度 各月	最大需要電力(送電端)	送電端電力量に気温補正後(過去10年ベース)月負荷率の至近5年平均値(2018年度～2022年度)を乗じて想定。 12～2月は月ごとに最大需要電力(送電端)夏季と同様の手法を使用。		
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	2015年度～2019年度の月別シェア(気温閾検針日数補正後)平均により想定。	
		業務用	2012年度～2019年度の月別シェア(気温閾補正後)平均により想定。	
		産業用その他	2015年度～2019年度の月別シェア平均により想定。	
第2年度 各月	最大需要電力(送電端)	送電端電力量に気温補正後(過去10年ベース)月負荷率の至近5年平均値(2018年度～2022年度)を乗じて想定。 12～2月は月ごとに最大需要電力(送電端)夏季と同様の手法を使用。		



供給区域 中部

2023 年度

年度	推定実績 (補正なし)	推定実績 (気象間補正後)	推定実績 (気象補正後)	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	平均増減率(% (参考))
	2022	2022	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2022年度対比 (気象補正後)
最大需要電力(送電端)夏季 MW	25,208	—	24,364	24,550	24,700	24,610	24,520	24,430	24,340	24,240	24,140	24,050	23,950	-0.2
最大需要電力(送電端)冬季 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
年負荷率 夏季 %	60.1	—	61.9	61.5	61.5	61.5	61.5	61.5	61.5	61.5	61.5	61.5	61.5	—
年負荷率 冬季 %	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
需要電力量合計(送電端) GWh	132,626	—	132,008	132,706	133,119	132,649	132,178	132,018	131,177	130,673	130,136	129,965	129,083	-0.2
送配電損失率 %	4.3	—	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	—
需要電力量合計(需要端) GWh	126,886	—	126,295	126,979	127,397	126,952	126,505	126,356	125,555	125,078	124,570	124,411	123,570	-0.2
変電所内内用電力量 GWh	150	—	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	-0.0
需要電力量合計(使用端) GWh	126,736	—	126,145	126,829	127,247	126,802	126,355	126,206	125,405	124,928	124,420	124,261	123,420	-0.2
家庭用その他 GWh	39,328	—	39,051	38,843	38,485	38,252	38,027	37,875	37,546	37,293	37,034	36,884	36,526	-0.7
業務用 GWh	22,141	—	21,827	21,872	21,804	21,793	21,771	21,793	21,704	21,681	21,632	21,644	21,542	-0.1
産業用その他 GWh	65,267	—	65,267	66,114	66,958	66,757	66,557	66,538	66,155	65,954	65,754	65,733	65,352	0.0
原単位(家庭用その他) kWh/口	3,566	—	3,547	3,539	3,515	3,504	3,496	3,493	3,477	3,469	3,460	3,463	3,429	-0.3
口数(家庭用その他) 千口	11,029	—	11,011	10,977	10,948	10,918	10,876	10,842	10,797	10,750	10,702	10,652	10,652	-0.3
人口/口数 人/口	1.42	—	1.42	1.42	1.41	1.41	1.41	1.41	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40	—
夏季需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベース需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
冬季需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベース需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
備考														

## S-2 供給区域需要想定(第1、2年度)

(事業者名) 中部電力パワーグリッド株式会社

供給区域 中部

2023 年度

(第1年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	17,990	18,070	20,190	24,550	24,550	22,080	18,790	19,020	21,590	23,420	23,420	20,500
	需要電力量合計(送電端)	GWh	9,874	9,488	10,246	11,911	11,960	10,886	10,319	10,357	11,849	12,463	11,884	11,469
	需要電力量合計(使用端)	GWh	10,243	9,248	9,813	10,663	11,393	11,173	9,914	9,698	10,345	11,351	11,827	11,161
	家庭用その他	GWh	3,304	2,534	2,474	2,729	3,474	3,319	2,581	2,685	3,283	4,216	4,435	3,809
	業務用	GWh	1,677	1,582	1,694	1,927	2,188	2,071	1,748	1,621	1,709	1,899	1,945	1,811
	産業用その他	GWh	5,262	5,132	5,645	6,007	5,731	5,783	5,585	5,392	5,353	5,236	5,447	5,541

(第2年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	18,090	18,180	20,310	24,700	24,700	22,210	18,900	19,130	21,720	23,560	23,560	20,620

供給区域 中部

2023 年度		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考		
短期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	8月電力量、変電所内用電力量、送配電損失率、最大3日日負荷率などの諸元に基づき想定	-	~	-	-	-	-		
		夏季需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-		
		ベース需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-		
		その他	-	-	- ~ -	-	-	-	-		
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	-	-	- ~ -	-	-	-	-		
		冬季需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-		
		ベース需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-		
		その他	-	-	- ~ -	-	-	-	-		
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数×原単位にて算出	気温閏補正後	- ~ -	-	-	-	-	-	
			家庭用その他(口数)	中部人口/一口当たり人口にて算出	-	- ~ -	-	人口	-	-	
			家庭用その他(一口当たり人口)	時系列傾向(片対数一次)	-	2009 ~ 2022	0.830	-	$Y=-0.105\log 10X+1.565$	Y=一口当たり人口 X=時系列	乖離差補正を実施
			家庭用その他(原単位)	時系列傾向(片対数一次)	気温閏補正後	2011 ~ 2022	0.952	-	$Y=-392.257\log 10X+3,955.317$	Y=原単位 X=時系列	2020,2021年度を観測期間から除外 新平年気温(1991年-2020年)を用いて気象補正した実績を用いて想定
業務用		GDP・時系列重相関	気温閏補正後	2010 ~ 2022	0.917	GDP	$Y=25.845X1-1,141.334\sqrt{X2}+11,645.081$	Y=電力量 X1=GDP X2=時系列	乖離差補正を実施 新平年気温(1991年-2020年)を用いて気象補正した実績を用いて想定		
産業用その他		IIP相関(片対数一次)	閏補正後	2017 ~ 2022	0.896	IIP	$Y=79,053.282\log 10X-91,796.290$	Y=電力量 X=IIP	乖離差補正を実施		

		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
長期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	8月電力量、変電所内用電力量、送配電損失率、最大3日日負荷率などの諸元に基づき想定	-	- ~ -	-	-	-	-	
		夏季需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
		ベース需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
		その他	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
		冬季需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
		ベース需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
		その他	-	-	- ~ -	-	-	-	-	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数×原単位にて算出	気温閏補正後	- ~ -	-	-	-	-	
		家庭用その他(口数)	中部人口/一口当たり人口にて算出	-	- ~ -	-	人口	-	-	
		家庭用その他(一口当たり人口)	時系列傾向(片対数一次)	-	2009 ~ 2022	0.830	-	$Y=-0.105\log 10X+1.565$	Y=一口当たり人口 X=時系列	乖離差補正を実施
		家庭用その他(原単位)	時系列傾向(片対数一次)	気温閏補正後	2011 ~ 2022	0.952	-	$Y=-392.257\log 10X+3,955.317$	Y=原単位 X=時系列	2020,2021年度を観測期間から除外 新平年気温(1991年-2020年)を用いて気象補正した実績を用いて想定
		業務用	GDP・時系列重相関	気温閏補正後	2010 ~ 2022	0.917	GDP	$Y=25.845X1-1,141.334\sqrt{X2}+11,645.081$	Y=電力量 X1=GDP X2=時系列	乖離差補正を実施 新平年気温(1991年-2020年)を用いて気象補正した実績を用いて想定
産業用その他		IIP相関(片対数一次)	閏補正後	2005 ~ 2021	0.590	IIP	$Y=72,584.177\log 10X-80,904.645$	Y=電力量 X=IIP		

		想定方法	備考	
中間期	最大需要電力(送電端)夏季	短期想定手法で想定		
	最大需要電力(送電端)冬季			
	負荷率			
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数×原単位にて算出	
		家庭用その他(口数)	中部人口/一口当たり人口にて算出	
		家庭用その他(一口当たり人口)	各年度で個別想定を実施	
		家庭用その他(原単位)	各年度で個別想定を実施	
業務用		各年度で個別想定を実施		
産業用その他		長期回帰式に基づき想定	差分補正有	
第1年度 各月	最大需要電力(送電端)	月負荷率(上期:2018-2022年度実績平均・下期:2017-2021年度実績平均)により想定		
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	年間電力量に実績月別比率(2016年度-2022年度平均、ただし2020,2021年度を除く)を乗じて想定	
		業務用	年間電力量に実績月別比率(2016年度-2022年度平均、ただし2020,2021年度を除く)を乗じて想定	
		産業用その他	年間電力量に実績月別比率(2017年度-2022年度平均、ただし2020年度を除く)を乗じて想定	
第2年度 各月	最大需要電力(送電端)	月負荷率(上期:2018-2022年度実績平均・下期:2017-2021年度実績平均)により想定		

供給区域 北陸

2023 年度

年度	推定実績 (補正なし)	推定実績 (気象間補正後)	推定実績 (気象補正後)	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	平均増減率(% (参考))
	2022	2022	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2022年度対比 (気象補正後)
最大需要電力(送電端)夏季 MW	5,081	—	4,928	4,950	4,930	4,920	4,910	4,890	4,880	4,870	4,860	4,840	4,830	-0.2
最大需要電力(送電端)冬季 MW	5,170	—	5,170	5,180	5,180	5,180	5,180	5,170	5,170	5,170	5,170	5,170	5,160	-0.0
年負荷率 夏季 %	64.7	—	65.8	65.7	65.9	66.0	66.0	66.2	66.2	66.3	66.3	66.5	66.5	—
年負荷率 冬季 %	63.5	—	62.8	62.8	62.8	62.7	62.6	62.6	62.5	62.4	62.3	62.2	62.3	—
需要電力量合計(送電端) GWh	28,776	—	28,424	28,588	28,479	28,449	28,395	28,425	28,310	28,274	28,225	28,265	28,147	-0.1
送配電損失率 %	4.2	—	3.9	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	—
需要電力量合計(需要端) GWh	27,556	—	27,322	27,359	27,254	27,226	27,174	27,203	27,093	27,058	27,011	27,050	26,937	-0.1
変電所内用電力量 GWh	26	—	26	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	0.4
需要電力量合計(使用端) GWh	27,530	—	27,296	27,332	27,227	27,199	27,147	27,176	27,066	27,031	26,984	27,023	26,910	-0.1
家庭用その他 GWh	9,283	—	9,145	9,058	8,947	8,902	8,866	8,842	8,779	8,740	8,690	8,676	8,610	-0.6
業務用 GWh	4,987	—	4,891	4,889	4,861	4,833	4,804	4,806	4,782	4,772	4,761	4,763	4,739	-0.3
産業用その他 GWh	13,260	—	13,260	13,385	13,419	13,464	13,477	13,528	13,505	13,519	13,533	13,584	13,561	0.2
原単位(家庭用その他) kWh/口	4,199	—	4,136	4,086	4,028	3,997	3,967	3,947	3,907	3,878	3,849	3,830	3,791	-0.9
口数(家庭用その他) 千口	2,211	—	2,211	2,217	2,221	2,227	2,235	2,240	2,247	2,254	2,258	2,265	2,271	0.3
人口/口数 人/口	1.306	—	1.306	1.293	1.281	1.268	1.255	1.243	1.230	1.217	1.205	1.192	1.179	—
夏季需要 MW		—												
ベース需要 MW		—												
冬季需要 MW		—												
ベース需要 MW		—												
備考														

供給区域 北陸

2023 年度

(第1年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	3,860	3,515	4,040	4,950	4,950	4,380	3,725	4,100	4,755	5,180	5,180	4,520
	需要電力量合計(送電端)	GWh	2,293	2,013	2,171	2,428	2,409	2,223	2,089	2,247	2,672	2,882	2,632	2,529
	需要電力量合計(使用端)	GWh	2,258	2,037	2,090	2,246	2,318	2,212	1,988	2,089	2,370	2,672	2,564	2,488
	家庭用その他	GWh	829	645	554	556	674	654	554	650	837	1,112	1,034	959
	業務用	GWh	346	347	368	457	486	399	360	366	439	465	437	419
	産業用その他	GWh	1,083	1,045	1,168	1,233	1,158	1,159	1,074	1,073	1,094	1,095	1,093	1,110

(第2年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	3,845	3,500	4,025	4,930	4,930	4,360	3,725	4,100	4,755	5,180	5,180	4,520

供給区域 北陸

2023 年度		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
短期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	送電端電力量から、8月電力量比率・最大3日日量比率・最大3日日負荷率の想定諸元に基づいて想定	気温閾補正後	~					
		夏季需要			~					
		ベース需要			~					
		その他			~					
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	送電端電力量から、1月電力量比率・最大3日日量比率・最大3日日負荷率の想定諸元に基づいて想定	気温閾補正後	~					
		冬季需要			~					
		ベース需要			~					
		その他			~					
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他		口数に原単位を乗じて算定される電力量から、コロナ影響量を加減算し想定		~				
			家庭用その他(口数)	人口を一口当たり人口で除して想定		~				
			家庭用その他(一口当たり人口)	時系列傾向により想定		2013 ~ 2022	0.9961	人口	$Y=-0.013X+1.457$	Y=一口当たり人口 X=時系列
		家庭用その他(原単位)	時系列傾向(コロナなかりせば)により想定	気温閾補正後	2013 ~ 2022	0.9331 0.7577		$Y=-47.73X+4,615.95$ $Y=-180.06\ln(X)+4,625.41$	Y=原単位 X=時系列	実数一次と片対数の折半
業務用		時系列傾向(コロナなかりせば)により想定した電力量からコロナ影響量を加減算し想定	気温閾補正後	2013 ~ 2022	0.7679		$Y=-28.81X+5,179.55$	Y=電力量 X=時系列	実数一次	
産業用その他		個社動向等により想定	-	~					相関式を使用せず	



		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
長期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	送電端電力量から、8月電力量比率・最大3日日量比率・最大3日日負荷率の想定諸元に基づいて想定	気温閾補正後	～					
		夏季需要			～					
		ベース需要			～					
		その他			～					
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	送電端電力量から、1月電力量比率・最大3日日量比率・最大3日日負荷率の想定諸元に基づいて想定	気温閾補正後	～					
		冬季需要			～					
		ベース需要			～					
		その他			～					
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他		口数に原単位を乗じて算定される電力量から、コロナ影響量を加減算し想定		～				
			家庭用その他(口数)	人口を一口当たり人口で除して想定		～				
			家庭用その他(一口当たり人口)	時系列傾向により想定		2013 ～ 2022	0.9961	人口	$Y=-0.013X+1.457$	Y=一口当たり人口 X=時系列
		家庭用その他(原単位)	時系列傾向(コロナなかりせば)により想定	気温閾補正後	2013 ～ 2022	0.9331 0.7577		$Y=-47.73X+4,615.95$ $Y=-180.06\ln(X)+4,625.41$	Y=原単位 X=時系列	実数一次と片対数の折半
		業務用	時系列傾向(コロナなかりせば)により想定した電力量からコロナ影響量を加減算し想定	気温閾補正後	2013 ～ 2022	0.7679 0.5506		$Y=-28.81X+5,179.55$ $Y=-103.51\ln(X)+5,177.44$	Y=電力量 X=時系列	実数一次と片対数の折半
		産業用その他	IIP関連により想定	-	2016 ～ 2022	0.7995	IIP	$Y=8,465.00\ln(X)-25,328.66$	Y=電力量 X=IIP	片対数

		想定方法	備考	
中間期	最大需要電力(送電端)夏季	第3～9年度は長期想定方法(短期想定方法と同一)に基づき想定		
	最大需要電力(送電端)冬季	第3～9年度は長期想定方法(短期想定方法と同一)に基づき想定		
	負荷率			
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数に原単位を乗じて算定される電力量から、コロナ影響量を加減算し想定	
		家庭用その他(口数)	人口を一口当たり人口で除して想定	
		家庭用その他(一口当たり人口)	第3～9年度は長期回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定	
		家庭用その他(原単位)	第3～9年度は長期回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定	
業務用		第3～4年度は短期回帰式に基づき想定、第5～9年度は長期回帰式に基づき想定	第5～9年度は差分補正あり	
産業用その他	第3～4年度は個社動向等に基づき想定、第5～9年度は長期回帰式に基づき想定	第5～9年度は差分補正あり		
第1年度 各月	最大需要電力(送電端)	上期(4月～9月):8月送電端最大3日平均電力想定値から、過去5か年(2017.10～2022.9)の月別8月H3需要比率(気温補正後)の平均値にて月別に展開 下期(10月～3月):1月送電端最大3日平均電力想定値から、過去5か年(2017.10～2022.9)の月別1月H3需要比率(気温補正後)の平均値にて月別に展開		
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	年度需要電力量から、5か年(2018～2022)の平均月別補正後電力量比率にて月別に展開	
		業務用	〃	
		産業用その他	個社動向等に基づき、月別に展開	
第2年度 各月	最大需要電力(送電端)	上期(4月～9月):8月送電端最大3日平均電力想定値から、過去5か年(2017.10～2022.9)の月別8月H3需要比率(気温補正後)の平均値にて月別に展開 下期(10月～3月):1月送電端最大3日平均電力想定値から、過去5か年(2017.10～2022.9)の月別1月H3需要比率(気温補正後)の平均値にて月別に展開		

供給区域 関西

2023 年度

年度	推定実績 (補正なし)	推定実績 (気象間補正後)	推定実績 (気象補正後)	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	平均増減率(% (参考))
	2022	2022	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2022年度対比 (気象補正後)
最大需要電力(送電端)夏季 MW	27,162	—	27,780	27,410	27,510	27,450	27,350	27,260	27,180	27,100	27,010	26,910	26,830	-0.3
最大需要電力(送電端)冬季 MW		—												
年負荷率 夏季 %	59.5	—	57.6	58.4	58.4	58.4	58.4	58.4	58.4	58.4	58.4	58.4	58.4	—
年負荷率 冬季 %		—												—
需要電力量合計(送電端) GWh	141,583	—	140,271	140,572	140,686	140,389	139,850	139,803	138,991	138,564	138,102	138,016	137,178	-0.2
送配電損失率 %	5.0	—	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	4.9	4.9	—
需要電力量合計(需要端) GWh	134,460	—	133,234	133,534	133,665	133,394	132,887	132,850	132,088	131,691	131,260	131,186	130,399	-0.2
変電所所内用電力量 GWh	211	—	211	211	211	211	211	211	211	211	211	211	211	0.0
需要電力量合計(使用端) GWh	134,249	—	133,023	133,323	133,454	133,183	132,676	132,639	131,877	131,480	131,049	130,975	130,188	-0.2
家庭用その他 GWh	49,515	—	48,704	48,545	48,113	47,805	47,491	47,300	46,854	46,536	46,214	46,011	45,553	-0.7
業務用 GWh	34,525	—	34,110	34,255	34,217	34,304	34,161	34,227	34,105	34,077	34,049	34,114	33,993	-0.0
産業用その他 GWh	50,209	—	50,209	50,523	51,124	51,074	51,024	51,112	50,918	50,867	50,786	50,850	50,642	0.1
原単位(家庭用その他) kWh/口	3,467	—	3,410	3,395	3,361	3,339	3,317	3,305	3,275	3,255	3,236	3,226	3,199	-0.6
口数(家庭用その他) 千口	14,282	—	14,282	14,300	14,313	14,318	14,318	14,313	14,306	14,295	14,281	14,262	14,239	-0.0
人口/口数 人/口	1.42	—	1.42	1.42	1.41	1.40	1.39	1.38	1.37	1.36	1.36	1.35	1.34	—
夏季需要 MW		—												
ベース需要 MW		—												
冬季需要 MW		—												
ベース需要 MW		—												
備考														

## S-2 供給区域需要想定(第1、2年度)

(事業者名) 関西電力送配電株式会社

供給区域 関西

2023 年度

(第1年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	17,976	18,279	21,166	27,410	27,410	23,139	18,904	19,136	23,492	25,180	25,180	21,145
	需要電力量合計(送電端)	GWh	10,305	10,139	10,803	12,854	13,468	11,385	10,615	10,684	12,496	13,588	12,414	11,821
	需要電力量合計(使用端)	GWh	10,914	9,404	9,987	11,197	12,266	12,145	10,244	9,947	10,852	11,901	12,765	11,701
	家庭用その他	GWh	4,200	2,969	3,131	3,582	4,283	4,432	3,099	3,330	4,138	4,967	5,728	4,686
	業務用	GWh	2,602	2,406	2,626	3,064	3,482	3,338	2,821	2,544	2,640	2,923	2,974	2,835
	産業用その他	GWh	4,112	4,029	4,230	4,551	4,501	4,375	4,324	4,073	4,074	4,011	4,063	4,180

(第2年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	18,316	18,623	21,566	27,510	27,510	23,576	19,260	19,498	23,936	25,270	25,270	21,543

供給区域 関西

2023 年度		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
短期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	日負荷による想定	気温補正後	2021 ~ 2022	-	-	-	-	
		夏季需要			~					
		ベース需要			~					
		その他			~					
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率			~					
		冬季需要			~					
		ベース需要			~					
		その他			~					
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数と原単位より想定		~					
		家庭用その他(口数)	人口と一口あたり人口より想定		~		人口			
		家庭用その他(一口あたり人口)	時系列傾向	補正なし	2013 ~ 2022	(A)0.949 (B)0.870	-	直線(A): $Y=-0.0109X+1.54$ ルート(B): $Y=-0.045\sqrt{X+1.58}$	Y: 一口あたり人口 X: 時系列	直線とルートの折半
		家庭用その他(原単位)	時系列傾向	気温閏補正後	2013 ~ 2022	0.834	-	$Y=-161\sqrt{X}+3,981.08$	Y: 原単位 X: 時系列	2020年度以前の実績については新平年値にて気温補正した実績を使用。
業務用		電力量とGDP・時系列の重相関により想定	気温閏補正後	2014 ~ 2022	0.862	GDP	$Y=30.71X1-722.13\sqrt{X2}+19,317.77$	Y: 電力量 X1: GDP、X2: 時系列	2020年度以前の実績については新平年値にて気温補正した実績を使用。	
産業用その他		電力量とIIP・時系列の重相関により想定	閏補正後	2012 ~ 2022	0.951	IIP	$Y=306.61X1-2,056.84\log X2+25,165.71$	Y: 電力量 X1: IIP、X2: 時系列		

		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
長期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	日負荷による想定	気温補正後	2021 ~ 2022	-	-	-	-	
		夏季需要			~					
		ベース需要			~					
		その他			~					
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率			~					
		冬季需要			~					
		ベース需要			~					
		その他			~					
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数と原単位より想定		~					
		家庭用その他(口数)	人口と一口あたり人口より想定		~		人口			
		家庭用その他(一口あたり人口)	時系列傾向	補正なし	2013 ~ 2022	(A)0.949 (B)0.870	-	直線(A): $Y=-0.0109X+1.54$ ルート(B): $Y=-0.045\sqrt{X+1.58}$	Y: 一口あたり人口 X: 時系列	直線とルートの折半
		家庭用その他(原単位)	時系列傾向	気温閏補正後	2013 ~ 2022	0.834	-	$Y=-161\sqrt{X}+3,981.08$	Y: 原単位 X: 時系列	2020年度以前の実績については新平年値にて気温補正した実績を使用。
		業務用	電力量とGDP・時系列の重相関により想定	気温閏補正後	2012 ~ 2022	0.881	GDP	$Y=28.83X1-873.12\sqrt{X2}+21,053.09$	Y: 電力量 X1: GDP、X2: 時系列	2020年度以前の実績については新平年値にて気温補正した実績を使用。
		産業用その他	電力量とIIP・時系列の重相関により想定	閏補正後	2012 ~ 2022	0.951	IIP	$Y=306.61X1-2,056.84\log X2+25,165.71$	Y: 電力量 X1: IIP、X2: 時系列	

		想定方法	備考	
中間期	最大需要電力(送電端)夏季	長期・短期同様、日負荷率による想定		
	最大需要電力(送電端)冬季			
	負荷率			
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数と原単位より想定	
		家庭用その他(口数)	人口を一口あたり人口で除して想定	
		家庭用その他(一口当たり人口)	第3～9年度は長期回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定	
		家庭用その他(原単位)	第3～9年度は長期回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定	
業務用		第3～9年度は長期回帰式に基づき想定	・第3～9年度は差分補正有(等差) ・第3年度(2025年度)は万博需要を個別に加算	
産業用その他	第3～9年度は長期回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定			
第1年度 各月	最大需要電力(送電端)	月負荷率(2017～2021年度実績平均)により想定		
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	2017～2021年度の月別構成比により想定	
		業務用	2017～2021年度の月別構成比により想定	
		産業用その他	2017～2021年度の月別構成比により想定	
第2年度 各月	最大需要電力(送電端)	月負荷率(2017～2021年度実績平均)により想定		

## 供給区域

2023 年度

年度	推定実績 (補正なし)	推定実績 (気象閾補正後)	推定実績 (気象補正後)	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	平均増減率(% (参考))
	2022	2022	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2022年度対比 (気象補正後)
最大需要電力(送電端)夏季 MW	10,502	—	10,638	10,430	10,430	10,418	10,405	10,393	10,380	10,368	10,355	10,343	10,330	-0.3
最大需要電力(送電端)冬季 MW	10,400	—	10,400	10,370	10,370	—	—	—	—	—	—	—	—	—
年負荷率 夏季 %	65.3	—	63.7	65.4	65.4	65.5	65.5	65.5	65.5	65.5	65.5	65.5	65.5	—
年負荷率 冬季 %	65.9	—	65.2	65.8	65.8									—
需要電力量合計(送電端) GWh	60,042	—	59,358	59,922	59,799	59,736	59,674	59,774	59,549	59,486	59,423	59,524	59,298	-0.0
送配電損失率 %	5.3	—	5.1	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	—
需要電力量合計(需要端) GWh	56,884	—	56,306	56,770	56,655	56,596	56,536	56,631	56,418	56,357	56,299	56,392	56,179	-0.0
変電所内用電力量 GWh	54	—	54	54	55	55	55	55	55	55	55	55	55	0.2
需要電力量合計(使用端) GWh	56,830	—	56,252	56,716	56,600	56,541	56,481	56,576	56,363	56,302	56,244	56,337	56,124	-0.0
家庭用その他 GWh	19,930	—	19,713	19,726	19,625	19,541	19,458	19,427	19,290	19,206	19,123	19,091	18,955	-0.4
業務用 GWh	10,773	—	10,412	10,755	10,707	10,692	10,676	10,690	10,646	10,630	10,615	10,628	10,584	0.2
産業用その他 GWh	26,126	—	26,126	26,235	26,268	26,308	26,347	26,459	26,427	26,466	26,506	26,618	26,585	0.2
原単位(家庭用その他) kWh/口	3,730	—	3,690	3,689	3,670	3,666	3,662	3,665	3,653	3,650	3,648	3,653	3,643	-0.1
口数(家庭用その他) 千口	5,343	—	5,343	5,347	5,348	5,331	5,314	5,301	5,281	5,262	5,242	5,226	5,203	-0.3
人口/口数 人/口	1.34	—	1.34	1.33	1.32	1.32	1.31	1.31	1.30	1.30	1.29	1.29	1.29	—
夏季需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベース需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
冬季需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベース需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
備考														



## S-2 供給区域需要想定(第1、2年度)

(事業者名) 中国電力ネットワーク株式会社

供給区域

2023 年度

(第1年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	7,570	7,470	8,350	10,430	10,430	9,310	7,700	8,360	10,130	10,370	10,370	9,020
	需要電力量合計(送電端)	GWh	4,416	4,397	4,547	5,227	5,387	4,699	4,527	4,764	5,589	5,755	5,461	5,153
	需要電力量合計(使用端)	GWh	4,628	4,140	4,187	4,626	5,014	4,841	4,330	4,322	4,770	5,446	5,310	5,102
	家庭用その他	GWh	1,731	1,316	1,189	1,356	1,639	1,595	1,281	1,378	1,724	2,342	2,181	1,994
	業務用	GWh	826	745	841	940	1,070	1,011	829	784	859	973	968	909
	産業用その他	GWh	2,071	2,079	2,157	2,330	2,305	2,235	2,220	2,160	2,187	2,131	2,161	2,199

(第2年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	7,570	7,470	8,350	10,430	10,430	9,310	7,700	8,360	10,130	10,370	10,370	9,020

供給区域

2023 年度			想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
短期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	日負荷率による想定	気温補正後	2016 ~ 2022	-	-	-	-	・至近6年平均 ※2020年度はコロナ影響により例年との乖離が発生している可能性があるため除く	
		夏季需要	-	-	~	-	-	-	-	-	
		ベース需要	-	-	~	-	-	-	-	-	
		その他	-	-	~	-	-	-	-	-	
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	日負荷率による想定	気温補正後	2017 ~ 2019	-	-	-	-	-	・至近3年平均 ※2020年度、2021年度はコロナ影響により例年との乖離が発生している可能性があるため除く
		冬季需要	-	-	~	-	-	-	-	-	
		ベース需要	-	-	~	-	-	-	-	-	
		その他	-	-	~	-	-	-	-	-	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	「口数×原単位」法		気温閏補正後	~	-	-	-	-	・コロナ影響および平成30年7月豪雨影響なかりせば電力量から想定
			家庭用その他(口数)	人口/一口当たり人口	-	~	-	人口	-	-	-
			家庭用その他(一口当たり人口)	時系列	-	2013 ~ 2022	0.997	-	$Y = -0.010 X + 1.436$	X:時系列	-
			家庭用その他(原単位)	時系列	気温閏補正後	2013 ~ 2022	0.891	-	$Y = -108.393 \ln X + 3,967.79$	X:時系列	・コロナ影響および平成30年7月豪雨影響なかりせば電力量から想定
		業務用	時系列	気温閏補正後	2010 ~ 2022	0.897	-	$Y = -285,975 \ln X + 11,618,041$	X:時系列	・コロナ影響および平成30年7月豪雨影響なかりせば原単位から想定	
		産業用その他	・産業用特高(一部):個別需要者想定 ・上記個別需要者想定以外:IIP単相関	補正なし	2015 ~ 2022	0.893	IIP	$Y = 13,886 \ln X - 42,357$	X:IIP		

		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考		
長期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	日負荷率による想定	気温補正後	2016 ~ 2022	-	-	-	-	・至近6年平均 ※2020年度はコロナ影響により例年との乖離が発生している可能性があるため除く	
		夏季需要	-	-	~	-	-	-	-	-	
		ベース需要	-	-	~	-	-	-	-	-	
		その他	-	-	~	-	-	-	-	-	
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	-	-	~	-	-	-	-	-	
		冬季需要	-	-	~	-	-	-	-	-	
		ベース需要	-	-	~	-	-	-	-	-	
		その他	-	-	~	-	-	-	-	-	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	「口数×原単位」法	気温閏補正後	~	-	-	-	-	-	・コロナ影響および平成30年7月豪雨影響なかりせば電力量から想定
		家庭用その他(口数)	人口/一口当たり人口	-	~	-	人口	-	-	-	-
		家庭用その他(一口当たり人口)	時系列	-	2013 ~ 2022	0.997 0.899	-	$Y = -0.010 X + 1.436$ $Y = -0.038 \ln X + 1.440$	X:時系列	・一次式と対数式の折半	
		家庭用その他(原単位)	時系列	気温閏補正後	2013 ~ 2022	0.891	-	$Y = -108.393 \ln X + 3,967.79$	X:時系列	・コロナ影響および平成30年7月豪雨影響なかりせば原単位から想定	
		業務用	時系列	気温閏補正後	2010 ~ 2022	0.897	-	$Y = -285,975 \ln X + 11,618,041$	X:時系列	・コロナ影響および平成30年7月豪雨影響なかりせば電力量から想定	
産業用その他		IIP単相関	補正なし	2007 ~ 2022	0.675	IIP	$Y = 16,621 \ln X - 49,013$	X:IIP	・個別需要者動向により補正 ・平成30年7月豪雨影響なかりせば電力量から想定		

		想定方法	備考	
中間期	最大需要電力(送電端) 夏季	2024年度と2032年度の想定結果を踏まえ算定	-	
	最大需要電力(送電端) 冬季	-	-	
	負荷率	2024年度と2032年度の想定結果を踏まえ算定	-	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	第3～9年度は長期回帰式に基づき想定	第3～9年度は差分補正有
		家庭用その他(口数)	-	-
		家庭用その他(一口当たり人口)	-	-
		家庭用その他(原単位)	-	-
業務用		第3～9年度は長期回帰式に基づき想定	第3～9年度は差分補正有	
産業用その他	第3～9年度は長期回帰式に基づき想定	第3～9年度は差分補正有		
第1年度 各月	最大需要電力(送電端)	8月(または1月)最大電力想定値と至近3か年平均の夏季(または冬季)比率(夏季(または冬季)最大電力に対する月別最大電力比率)から算出	-	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	過去実績をもとに月別変動係数を算定し、年度の電力量に乗じて月別電力量を算出	-
		業務用	過去実績をもとに月別変動係数を算定し、年度の電力量に乗じて月別電力量を算出	-
		産業用その他	過去実績をもとに月別変動係数を算定し、年度の電力量に乗じて月別電力量を算出	-
第2年度 各月	最大需要電力(送電端)	8月(または1月)最大電力想定値と至近3か年平均の夏季(または冬季)比率(夏季(または冬季)最大電力に対する月別最大電力比率)から算出	-	

供給区域

2023 年度

年度	推定実績 (補正なし)	推定実績 (気象閾補正後)	推定実績 (気象補正後)	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	平均増減率(% (参考))
	2022	2022	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2022年度対比 (気象補正後)
最大需要電力(送電端)夏季 MW	5,111	—	5,108	4,970	4,950	4,930	4,900	4,870	4,850	4,820	4,800	4,770	4,740	-0.7
最大需要電力(送電端)冬季 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
年負荷率 夏季 %	60.1	—	59.2	60.4	60.4	60.4	60.4	60.5	60.4	60.4	60.4	60.4	60.4	—
年負荷率 冬季 %	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
需要電力量合計(送電端) GWh	26,896	—	26,488	26,358	26,211	26,072	25,932	25,862	25,653	25,518	25,376	25,304	25,097	-0.5
送配電損失率 %	5.0	—	4.7	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	—
需要電力量合計(需要端) GWh	25,545	—	25,232	24,987	24,848	24,716	24,584	24,517	24,319	24,191	24,056	23,989	23,792	-0.6
変電所内用電力量 GWh	32	—	32	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	0.3
需要電力量合計(使用端) GWh	25,513	—	25,200	24,954	24,815	24,683	24,551	24,484	24,286	24,158	24,023	23,956	23,759	-0.6
家庭用その他 GWh	10,362	—	10,202	10,064	9,922	9,814	9,707	9,625	9,492	9,384	9,277	9,194	9,062	-1.2
業務用 GWh	5,734	—	5,581	5,701	5,684	5,684	5,682	5,694	5,675	5,675	5,669	5,681	5,661	0.1
産業用その他 GWh	9,417	—	9,417	9,189	9,209	9,185	9,162	9,165	9,119	9,099	9,077	9,081	9,036	-0.4
原単位(家庭用その他) kWh/口	3,593	—	3,537	3,491	3,445	3,409	3,372	3,344	3,298	3,262	3,225	3,197	3,151	-1.1
口数(家庭用その他) 千口	2,884	—	2,884	2,883	2,880	2,879	2,879	2,878	2,878	2,877	2,877	2,876	2,875	-0.0
人口/口数 人/口	1.26	—	1.26	1.24	1.23	1.22	1.21	1.20	1.19	1.18	1.16	1.15	1.14	—
夏季需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベース需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
冬季需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベース需要 MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
備考														

## S-2 供給区域需要想定(第1、2年度)

(事業者名) 四国電力送配電(株)

供給区域

2023 年度

(第1年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	3,340	3,420	3,860	4,970	4,970	4,250	3,690	3,700	4,580	4,580	4,580	3,950
	需要電力量合計(送電端)	GWh	1,956	1,924	2,019	2,371	2,435	2,102	2,006	2,037	2,381	2,529	2,355	2,243
	需要電力量合計(使用端)	GWh	1,952	1,839	1,888	2,137	2,289	2,076	1,911	1,843	2,060	2,443	2,241	2,275
	家庭用その他	GWh	802	704	611	725	913	817	676	690	833	1,192	1,046	1,055
	業務用	GWh	389	405	461	570	582	485	429	413	495	524	486	462
	産業用その他	GWh	761	730	816	842	794	774	806	740	732	727	709	758

(第2年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	3,330	3,420	3,850	4,950	4,950	4,240	3,680	3,690	4,560	4,560	4,560	3,940

供給区域

2023 年度		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
短期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	至近実績(気温補正後)の平均値	気温閾補正後	2018 ~ 2022	-	-	-	-	2019,2020,2021年度を除外
		夏季需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		ベース需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		その他	変電所所内:至近実績の平均値 送配電損失率:至近実績(気温補正前)の平均値	補正なし	2017 ~ 2021 2019 ~ 2021	-	-	-	-	-
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	-	-	~	-	-	-	-	-
		冬季需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		ベース需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		その他	-	-	~	-	-	-	-	-
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	-	-	~	-	-	-	-	-
		家庭用その他(口数)	-	-	~	-	-	-	-	-
		家庭用その他(一口当たり人口)	時系列傾向	補正なし	2013 ~ 2022	0.998	人口	$y = -0.01x + 1.4$	y=一口当たり人口 x=時系列	-
		家庭用その他(原単位)	時系列傾向	気温閾補正後	2011 ~ 2022	0.854	-	$y = -36.7x + 3,959.4$	y=原単位 x=時系列	-
		業務用	経済指標と時系列の重相関	気温閾補正後	2010 ~ 2022	0.967	GDP	$y = -394.8\ln(x1) + 2,720.7\ln(x2) - 10,448.8$	y=電力量 x1=時系列 x2=GDP	-
		産業用その他	経済指標と時系列の重相関	閾補正後	2010 ~ 2022	0.895	IIP	$y = -506.8\ln(x1) + 2,730.8\ln(x2) - 2,045.1$	y=電力量 x1=時系列 x2=IIP	-

		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
長期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	至近実績(気温補正後)の平均値	気温閏補正後	2018 ~ 2022	-	-	-	-	2019,2020,2021年度を除外
		夏季需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		ベース需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		その他	変電所所内:至近実績の平均値 送配電損失率:至近実績(気温補正前)の平均値	補正なし	2017 ~ 2021 2019 ~ 2021	-	-	-	-	-
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	-	-	~	-	-	-	-	-
		冬季需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		ベース需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		その他	-	-	~	-	-	-	-	-
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	-	-	~	-	-	-	-	-
		家庭用その他(口数)	-	-	~	-	-	-	-	-
		家庭用その他(一口当たり人口)	時系列傾向	補正なし	2013 ~ 2022	0.998	人口	$y = -0.01x + 1.4$	y=一口当たり人口 x=時系列	-
		家庭用その他(原単位)	時系列傾向	気温閏補正後	2011 ~ 2022	0.854	-	$y = -36.7x + 3,959.4$	y=原単位 x=時系列	-
		業務用	経済指標と時系列の重相関	気温閏補正後	2010 ~ 2022	0.967	GDP	$y = -394.8\ln(x1) + 2,720.7\ln(x2) - 10,448.8$	y=電力量 x1=時系列 x2=GDP	-
		産業用その他	経済指標と時系列の重相関	閏補正後	2010 ~ 2022	0.895	IIP	$y = -506.8\ln(x1) + 2,730.8\ln(x2) - 2,045.1$	y=電力量 x1=時系列 x2=IIP	-



		想定方法	備考	
中間期	最大需要電力(送電端)夏季	短期と同様の手法で想定		
	最大需要電力(送電端)冬季	-		
	負荷率	短期と同様の手法で想定		
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	各年度個別想定(短期・長期同一の推計式)	
		家庭用その他(口数)	-	
		家庭用その他(一口当たり人口)	-	
		家庭用その他(原単位)	-	
業務用		各年度個別想定(短期・長期同一の推計式)		
産業用その他	各年度個別想定(短期・長期同一の推計式)			
第1年度 各月	最大需要電力(送電端)	$\frac{((\text{供給区域需要(気温補正後)} + \text{変電所内}) \div (1 - \text{送配電損失率})) \times \text{月配分率} \div \text{日数} \times \text{H3平均日量比率} \div \text{日負荷率}}$		
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	過去の実績傾向を基に配分	
		業務用	過去の実績傾向を基に配分	
		産業用その他	過去の実績傾向を基に配分	
第2年度 各月	最大需要電力(送電端)	第1年度と同様に、気温補正後の供給区域需要から負荷率等を用いて想定		

供給区域

2023 年度

年度	推定実績 (補正なし)	推定実績 (気象閾補正後)	推定実績 (気象補正後)	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	平均増減率(% (参考))
	2022	2022	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2022年度対比 (気象補正後)
最大需要電力(送電端)夏季 MW	15,634	—	15,497	15,370	15,410	15,380	15,350	15,310	15,270	15,230	15,180	15,130	15,080	-0.3
最大需要電力(送電端)冬季 MW	—	—	14,640	14,540	14,580	14,550	14,520	14,480	14,450	14,410	14,360	14,310	14,270	-0.3
年負荷率 夏季 %	63.3	—	63.0	63.4	63.4	63.4	63.4	63.4	63.4	63.4	63.4	63.4	63.4	—
年負荷率 冬季 %	—	—	66.6	67.0	67.0	67.0	67.0	67.0	67.0	67.0	67.0	67.0	67.0	—
需要電力量合計(送電端) GWh	86,735	—	85,474	85,551	85,534	85,378	85,196	85,213	84,762	84,537	84,259	84,205	83,692	-0.2
送配電損失率 %	4.9	—	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	—
需要電力量合計(需要端) GWh	82,519	—	81,318	81,326	81,311	81,162	80,989	81,005	80,577	80,362	80,099	80,047	79,559	-0.2
変電所内用電力量 GWh	92	—	92	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	-0.2
需要電力量合計(使用端) GWh	82,427	—	81,226	81,236	81,221	81,072	80,899	80,915	80,487	80,272	80,009	79,957	79,469	-0.2
家庭用その他 GWh	33,031	—	32,176	32,118	31,888	31,752	31,619	31,574	31,357	31,219	31,087	31,035	30,816	-0.4
業務用 GWh	19,018	—	18,673	18,686	18,593	18,537	18,458	18,400	18,244	18,140	17,996	17,898	17,701	-0.5
産業用その他 GWh	30,377	—	30,377	30,432	30,740	30,783	30,822	30,940	30,886	30,914	30,926	31,024	30,952	0.2
原単位(家庭用その他) kWh/口	3,525	—	3,434	3,425	3,398	3,382	3,367	3,362	3,340	3,327	3,315	3,313	3,293	-0.4
口数(家庭用その他) 千口	9,371	—	9,371	9,378	9,383	9,387	9,390	9,390	9,388	9,382	9,377	9,368	9,359	-0.0
人口/口数 人/口	1.35	—	1.35	1.34	1.33	1.32	1.31	1.30	1.30	1.29	1.28	1.27	1.26	—
夏季需要 MW		—												
ベース需要 MW		—												
冬季需要 MW		—												
ベース需要 MW		—												
備考														

## 供給区域

2023 年度

(第1年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	10,000	10,480	12,030	15,370	15,370	13,200	11,090	11,520	13,930	14,540	14,540	12,230
	需要電力量合計(送電端)	GWh	6,259	6,219	6,646	7,859	8,020	6,966	6,471	6,623	7,814	8,161	7,479	7,034
	需要電力量合計(使用端)	GWh	6,400	5,875	6,140	6,839	7,698	7,298	6,417	6,151	6,593	7,411	7,496	6,918
	家庭用その他	GWh	2,591	2,126	2,149	2,451	3,048	2,790	2,207	2,248	2,715	3,392	3,467	2,934
	業務用	GWh	1,398	1,307	1,420	1,641	1,926	1,870	1,592	1,399	1,397	1,580	1,639	1,517
	産業用その他	GWh	2,411	2,442	2,571	2,747	2,724	2,638	2,618	2,504	2,481	2,439	2,390	2,467

(第2年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	10,020	10,510	12,060	15,410	15,410	13,230	11,120	11,550	13,970	14,580	14,580	12,260

供給区域

2023 年度		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
短期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	日負荷率による想定	気温補正後	2017 ~ 2021	-	-	過去5年平均	-	-
		夏季需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	-
		ベース需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	-
		その他	-	-	- ~ -	-	-	-	-	-
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	日負荷率による想定	気温補正後	2017 ~ 2021	-	-	過去5年平均	-	-
		冬季需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	-
		ベース需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	-
		その他	-	-	- ~ -	-	-	-	-	-
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数 × 原単位	-	- ~ -	-	-	-	-	-
		家庭用その他(口数)	供給区域内人口 / 一口あたり人口	-	- ~ -	-	-	-	-	-
		家庭用その他(一口あたり人口)	時系列相関	-	2013 ~ 2022	①0.996 ②0.928	人口	① $Y = -0.013X + 1.478$ ② $Y = -0.053 \log X + 1.485$	Y: 一口あたり人口 X: 時系列	一口あたり人口は①実数一次と②片対数一次の 想定結果を折半
		家庭用その他(原単位)	時系列相関	気温閏補正後	2010 ~ 2022	0.975	-	$Y = -246.906X + 4109.224$	Y: 原単位 X: 時系列	コロナ影響なかりせば原単位から想定
		業務用	GDP × 原単位(電力量/GDP) ※原単位は時系列相関	気温補正後	2010 ~ 2022	0.82	GDP	$Y = -0.407X + 38.754$	Y: 原単位 X: 時系列	-
		産業用その他	IIP相関	補正なし	2017 ~ 2021	0.941	IIP	$Y = 13293.317 \log X - 31147.362$	Y: 電力量 X: IIP	乖離差補正あり

			想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
長期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	日負荷率による想定	気温補正後	2017 ~ 2021	-	-	過去5年平均	-	-	
		夏季需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	-	
		ベース需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	-	
		その他	-	-	- ~ -	-	-	-	-	-	
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	日負荷率による想定	気温補正後	2017 ~ 2021	-	-	過去5年平均	-	-	
		冬季需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	-	
		ベース需要	-	-	- ~ -	-	-	-	-	-	
		その他	-	-	- ~ -	-	-	-	-	-	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数×原単位	-	- ~ -	-	-	-	-	-	-
		家庭用その他(口数)	供給区域内人口/一口あたり人口	-	- ~ -	-	-	-	-	-	-
		家庭用その他(一口あたり人口)	時系列相関	-	2013 ~ 2022	①0.996 ②0.928	人口	① $Y=-0.013X+1.478$ ② $Y=-0.053\log X+1.485$	Y:一口あたり人口 X:時系列	一口あたり人口は①実数一次と②片対数一次の 想定結果を折半	
		家庭用その他(原単位)	時系列相関	気温補正後	2010 ~ 2022	0.975	-	$Y=-246.906X+4109.224$	Y:原単位 X:時系列	コロナ影響なかりせば原単位から想定	
		業務用	GDP×原単位(電力量/GDP) ※原単位は時系列相関	気温補正後	2010 ~ 2022	0.82	GDP	$Y=-0.407X+38.754$	Y:原単位 X:時系列	-	
		産業用その他	IIP相関	補正なし	2017 ~ 2021	0.941	IIP	$Y=13293.317\log X$ $-31147.362$	Y:電力量 X:IIP	乖離差補正あり	

		想定方法	備考	
中間期	最大需要電力(送電端)夏季	各年度の想定電力量及び日負荷率等の想定諸元から算定	-	
	最大需要電力(送電端)冬季	-	-	
	負荷率	短期及び長期と同一	-	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	各年度の口数×原単位で想定	-
		家庭用その他(口数)	-	-
		家庭用その他(一口当たり人口)	第3～9年度は長期回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定	-
		家庭用その他(原単位)	第3～9年度は長期回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定	-
業務用		第3～9年度は長期回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定	-	
産業用その他	第3～9年度は長期回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定	-		
第1年度 各月	最大需要電力(送電端)	過去の実績傾向を勘案し算定した各月の比率をもとに、2023年度の月別最大需要電力を想定(4月～10月:8月比率、11月～3月:1月比率)。	-	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	過去の実績傾向を勘案し算定した各月の比率をもとに、2023年度の電力量を按分し、想定。	-
		業務用	過去の実績傾向を勘案し算定した各月の比率をもとに、2023年度の電力量を按分し、想定。	-
		産業用その他	過去の実績傾向を勘案し算定した各月の比率をもとに、2023年度の電力量を按分し、想定。	-
第2年度 各月	最大需要電力(送電端)	過去の実績傾向を勘案し算定した各月の比率をもとに、2024年度の月別最大需要電力を想定(4月～10月:8月比率、11月～3月:1月比率)。	-	

供給区域 沖縄

2023 年度

年度		推定実績 (補正なし)	推定実績 (気象閏補正後)	推定実績 (気象補正後)	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	平均増減率(%) (参考)	
		2022	2022	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2022年度対比 (気象補正後)
最大需要電力(送電端)夏季	MW	1,673	—	1,638	1,611	1,620	1,629	1,639	1,649	1,658	1,668	1,678	1,689	1,699	0.4
最大需要電力(送電端)冬季	MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
年負荷率 夏季	%	56.4	—	56.7	57.7	57.8	57.8	57.7	57.7	57.8	57.8	57.8	57.8	57.8	—
年負荷率 冬季	%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
需要電力量合計(送電端)	GWh	8,265	—	8,139	8,171	8,197	8,242	8,290	8,363	8,390	8,440	8,492	8,568	8,597	0.5
送配電損失率	%	4.2	—	4.6	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	—
需要電力量合計(需要端)	GWh	7,918	—	7,768	7,828	7,852	7,896	7,942	8,012	8,037	8,085	8,135	8,209	8,236	0.6
変電所所内消費電力量	GWh	5	—	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	0.0
需要電力量合計(使用端)	GWh	7,913	—	7,763	7,823	7,848	7,891	7,937	8,007	8,032	8,080	8,130	8,204	8,231	0.6
家庭用その他	GWh	3,645	—	3,528	3,568	3,586	3,615	3,643	3,683	3,701	3,731	3,762	3,805	3,826	0.8
業務用	GWh	2,922	—	2,889	2,909	2,913	2,926	2,938	2,958	2,962	2,974	2,987	3,007	3,011	0.4
産業用その他	GWh	1,346	—	1,346	1,345	1,348	1,350	1,356	1,367	1,369	1,375	1,382	1,392	1,394	0.4
原単位(家庭用その他)	kWh/口	3,697	—	3,578	3,572	3,543	3,530	3,516	3,511	3,488	3,477	3,464	3,465	3,444	-0.4
口数(家庭用その他)	千口	986	—	986	999	1,012	1,024	1,036	1,049	1,061	1,073	1,086	1,098	1,111	1.2
人口/口数	人/口	1.49	—	1.49	1.48	1.46	1.45	1.43	1.42	1.40	1.38	1.37	1.35	1.34	—
夏季需要	MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベース需要	MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
冬季需要	MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベース需要	MW	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
備考															

供給区域 沖縄

2023 年度

(第1年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	1,070	1,303	1,556	1,582	1,611	1,598	1,381	1,179	1,005	1,086	1,031	979
	需要電力量合計(送電端)	GWh	568	640	769	898	877	797	698	592	598	603	553	578
	需要電力量合計(使用端)	GWh	559	570	664	763	855	822	718	629	565	605	537	537
	家庭用その他	GWh	249	247	297	355	408	395	322	267	244	297	243	243
	業務用	GWh	205	215	250	287	321	304	279	249	212	203	194	193
	産業用その他	GWh	105	108	117	121	126	123	117	113	109	105	100	101

(第2年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端)	MW	1,076	1,311	1,565	1,591	1,620	1,607	1,388	1,186	1,011	1,092	1,037	985



供給区域 沖縄

2023 年度		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考		
短期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	日負荷率直近実績	気温補正後	2022 ~ 2022	-	-	-	-		
		夏季需要	-	-	~	-	-	-	-	-	
		ベース需要	-	-	~	-	-	-	-	-	
		その他	-	-	~	-	-	-	-	-	
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	-	-	~	-	-	-	-	-	
		冬季需要	-	-	~	-	-	-	-	-	
		ベース需要	-	-	~	-	-	-	-	-	
		その他	-	-	~	-	-	-	-	-	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数×原単位	-	-	~	-	-	-	-	-
			家庭用その他(口数)	人口と人口/口数により算出	-	~	-	人口	-	-	-
			家庭用その他(一口当たり人口)	時系列相関 実数1次	-	2009 ~ 2022	0.986	-	$Y = -0.016X + 1.714$	-	-
			家庭用その他(原単位)	時系列相関 片対数	気温閏補正後	2010 ~ 2022	0.931	-	$Y = -236.684\log X + 4186.119$	-	2020年度実績と2021年度実績はコロナ影響補正後
		業務用	時系列相関 実数1次	気温閏補正後	2013 ~ 2022	0.672	-	$Y = 12.194X + 2753.464$	-	2020年度実績と2021年度実績はコロナ影響補正後	
		産業用その他	時系列相関 実数1次	閏補正後	2015 ~ 2022	0.940	-	$Y = 6.298X + 1106.388$	-	2020年度実績と2021年度実績は観測期間から除外 一部お客さまについては、別途想定し積上げ	

		想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考	
長期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率	日負荷率直近実績	気温補正後	2022 ~ 2022	-	-	-	-	-
		夏季需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		ベース需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		その他	-	-	~	-	-	-	-	-
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率	-	-	~	-	-	-	-	-
		冬季需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		ベース需要	-	-	~	-	-	-	-	-
		その他	-	-	~	-	-	-	-	-
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	口数×原単位	-	~	-	-	-	-	-
		家庭用その他(口数)	人口と人口/口数により算出	-	~	-	人口	-	-	-
		家庭用その他(一口当たり人口)	時系列相関 実数1次	-	2009 ~ 2022	0.986	-	$Y = -0.016X + 1.714$	-	-
		家庭用その他(原単位)	時系列相関 片対数	気温閏補正後	2010 ~ 2022	0.931	-	$Y = -236.684\log X + 4186.119$	-	2020年度実績と2021年度実績はコロナ影響補正後
		業務用	時系列相関 実数1次	気温閏補正後	2013 ~ 2022	0.672	-	$Y = 12.194X + 2753.464$	-	2020年度実績と2021年度実績はコロナ影響補正後
		産業用その他	時系列相関 実数1次	閏補正後	2015 ~ 2022	0.940	-	$Y = 6.298X + 1106.388$	-	2020年度実績と2021年度実績は観測期間から除外 一部お客さまについては、別途想定し積上げ

		想定方法		備考	
中間期	最大需要電力(送電端)夏季	短期・長期と同様に日負荷率により算出		-	
	最大需要電力(送電端)冬季	-		-	
	負荷率	日負荷率直近実績		-	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	第3～9年度は長期回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定		-
		家庭用その他(口数)	-		-
		家庭用その他(一口当たり人口)	-		-
		家庭用その他(原単位)	-		-
業務用	第3～9年度は長期回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定				
産業用その他	第3～9年度は長期回帰式(短期回帰式と同一)に基づき想定		-		
第1年度 各月	最大需要電力(送電端)	各月の実績比率の過去3年平均により算出。		-	
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他	各月の実績比率の過去5年平均により算出。		-
		業務用	各月の実績比率の過去5年平均により算出。		コロナ影響を強く受けた2020年度は除外
		産業用その他	各月の実績比率の過去5年平均により算出。		-
第2年度 各月	最大需要電力(送電端)	各月の実績比率の過去3年平均により算出。		-	

# 全国及び供給区域ごとの需要想定 (2023 年度)

2023 年 1 月 25 日



**電力広域的運営推進機関**

Organization for Cross-regional Coordination of  
Transmission Operators, JAPAN



はじめに	1
1. 供給区域ごとの需要想定の確認について	2
(1) 送配電等業務指針及び需要想定要領への適合性	2
(2) 本機関が公表した経済見通しの使用状況	2
(3) 供給区域の個別事情や地域特性の反映状況	2
(4) 電力需要想定 の在り方に係る検討の反映状況	3
(5) 供給区域需要の想定 の妥当性	3
2. 全国及び供給区域ごとの需要想定取りまとめ結果について	5
(1) 全国の需要想定	5
(2) 供給区域ごとの需要想定	8
3. まとめ（概要）	11
別添1. 需要想定フロー及び供給区域ごとの需要想定方法	12
別添2. 全国及び供給区域ごとの需要想定（詳細表）	13
別添3. 定義	16
別添4. 需要想定要領の見直し経緯（概要）	17

## はじめに

本機関は、業務規程第 23 条の規定に基づき、一般送配電事業者たる会員から提出された供給区域需要の想定について、その妥当性や送配電等業務指針及び需要想定要領等への適合性を確認するとともに、供給区域需要の想定合計からなる全国の需要想定を策定し、公表することとしている。

先般、一般送配電事業者たる会員から、2023 年度供給計画における供給区域需要の想定提出を受けたので、その内容の確認結果、及びその合計からなる全国の需要想定について報告する。

想定の対象は以下のとおりである。

- ・最大需要電力（送電端）
- ・需要電力量（送電端、需要端、使用端）

なお本想定は、需要想定要領に基づき、過去の電力需要実績と、それに影響を与えると考えられる要因（人口、経済指標などの指標）との回帰分析等により、将来の需要を想定するというものであり、その想定にあたっては過去のトレンドから蓋然性の高いと思われる指標を基礎としている。

一方で、2050 年カーボンニュートラル実現に向け電化の推進など電力需要の面でも政策的にも大きな転換を求められることも想定され、それらの情勢変化によっては、今回の想定と実際の需要との間で相当程度乖離する可能性もあることに留意が必要である。

### 【業務規程】

（全国の需要想定策定）

第 23 条 本機関は、送配電等業務指針に定めるところにより、一般送配電事業者たる会員から、当該会員の供給区域需要の想定提出を受ける。

2 本機関は、供給区域需要の想定提出を受けたときは、当該会員から必要に応じて、その根拠や考え方を聴取し、送配電等業務指針及び需要想定要領との適合性その他適切に需要想定を行うために必要な事項を確認するとともに、その妥当性を確認する。

3 本機関は、前項の確認の結果、供給区域需要の想定が妥当でないと認めるときは、当該供給区域の一般送配電事業者たる会員に対して、期限を示した上で、供給区域需要の想定の見直し及び見直後の需要想定提出を求める。本機関は、見直後の需要想定提出を受けた場合には、前項に準じて、その妥当性を確認する。

4 本機関は、毎年 1 月末日までに、第 2 項及び第 3 項において妥当性を確認した全ての供給区域需要の想定合計からなる全国の需要想定を策定する。

5 本機関は、全国の需要想定を策定したときは、全国及び供給区域ごとの需要想定を公表する。

## 1. 供給区域ごとの需要想定の確認について

業務規程第 23 条の規定に基づき、一般送配電事業者たる会員から 2023 年度の需要想定報告調書の提出を受けるとともに、当該会員へ需要想定根拠や考え方を聴取し、供給区域ごとの需要想定について以下の事項を確認した。

### (1) 送配電等業務指針及び需要想定要領への適合性

#### ① 確認事項

一般送配電事業者たる会員は、送配電等業務指針第 4 条の規定に基づき、本機関の公表する経済見通しその他の情報、直近の需要動向、過去の需要の実績、供給区域の個別事情等を考慮し、需要想定要領に基づき、自らの供給区域需要の想定を行い、毎年度 1 月 20 日までに本機関に提出する。

また、需要想定要領において、供給区域需要の想定は、原則として時系列又は経済見通しとの回帰式により行うこと等、想定の手法について定めている。

これらの規程等に照らして、一般送配電事業者たる会員の需要想定根拠の適合性を確認する。

#### ② 確認結果

各会員の需要想定が、時系列又は経済見通しとの回帰式により行われていること、直近の需要動向、需要実績等を考慮していること等、送配電等業務指針及び需要想定要領に基づいて実施されていることを確認した。

### (2) 本機関が公表した経済見通しの使用状況

#### ① 確認事項

本機関は、2022 年 11 月 24 日、ウェブサイトにおいて、需要想定前提となる人口、国内総生産（GDP）、鉱工業生産指数（IIP）等の経済見通しを公表した<sup>1</sup>。

一般送配電事業者たる会員が、経済見通しを想定に用いている場合には、本機関が公表した経済見通しを用いていることを確認する。

#### ② 確認結果

各会員の需要想定で、経済見通しとの回帰式を用いている場合には、本機関が公表した経済見通しを用いていることを確認した。

### (3) 供給区域の個別事情や地域特性の反映状況

#### ① 確認事項

需要想定要領において、一般送配電事業者たる会員は供給区域需要の想定の際に、必要に応じて地域の特性や個別需要家の動向等を考慮して想定することを定めており、こうした考慮が適切に行われていることを確認する。

<sup>1</sup> [https://www.occto.or.jp/juyousoutei/2022/221124\\_juyousoutei\\_2023.html](https://www.occto.or.jp/juyousoutei/2022/221124_juyousoutei_2023.html)



## ② 確認結果

各会員の需要想定に供給区域の個別事情や地域特性を反映している場合においては、その根拠や考え方を聴取すること等により、適切に考慮されていることを確認した。

特に、新型コロナウイルスの影響に関し、テレワークの実施状況、宿泊施設の稼働状況、主要業種の生産動向などについても各会員から聴取した。

その他、主な反映点等は以下のとおりである。

- ・住宅用太陽光発電の自家消費（全供給区域）
- ・個別需要家へのアンケート結果（生産動向や自家発動向等）  
（北陸、中国、沖縄）
- ・2021年度以降における電子部品・デバイス等の生産増（東北）
- ・大阪万博の開催（2025年度）（関西）
- ・リニア中央新幹線の開業（2027年度）（東京、中部）
- ・北海道新幹線の札幌延伸（2031年度）（北海道）
- ・発電所の停止中所内電力（沖縄を除く供給区域）

## （４）電力需要想定の在り方に係る検討の反映状況

### ① 確認事項

昨年5月の国の審議会<sup>2</sup>において、2020・2021年度に需給検証で想定した最大需要を多くのエリアで上回ったことを踏まえ、社会経済構造の変化を考慮した需要想定の在り方を検討すべきとされた。これを受け各会員と本機関にて需要想定の在り方を検討し、昨年10月と11月に開催された本機関の委員会<sup>34</sup>にて、高需要期の最大需要電力については日負荷率を用いた想定が必要であることが確認された。

各会員の需要想定が、需要想定の在り方に係る審議結果を踏まえ、エリア特性を考慮しながら想定方法を検証したうえで需要想定したものであることを確認する。

### ② 確認結果

在宅率の高まりによる家庭用需要への影響について、ロードカーブ、電力量・最大電力の実績、及び日負荷率の推移などを踏まえ、2023年度以降の見通しを検討していることを確認し、本機関の委員会<sup>5</sup>にも報告した。

## （５）供給区域需要の想定妥当性

### ① 確認事項

業務規程第23条の規定に基づき、全ての供給区域需要の想定妥当性を確認する。

<sup>2</sup> 第50回 総合資源エネルギー調査会 電力・ガス事業分科会 電力・ガス基本政策小委員会  
(2022.05.27) 資料4-1

[https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/denryoku\\_gas/denryoku\\_gas/pdf/050\\_04\\_01.pdf](https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/denryoku_gas/denryoku_gas/pdf/050_04_01.pdf)

<sup>3</sup> 第78回 調整力及び需給バランス評価等に関する委員会 (2022.10.19) 資料1

[https://www.occto.or.jp/iinkai/chouseiryoku/2022/chousei\\_jukyu\\_78\\_haifu.html](https://www.occto.or.jp/iinkai/chouseiryoku/2022/chousei_jukyu_78_haifu.html)

<sup>4</sup> 第79回 調整力及び需給バランス評価等に関する委員会 (2022.11.22) 資料1

[https://www.occto.or.jp/iinkai/chouseiryoku/2022/chousei\\_jukyu\\_79\\_haifu.html](https://www.occto.or.jp/iinkai/chouseiryoku/2022/chousei_jukyu_79_haifu.html)

<sup>5</sup> 第81回 調整力及び需給バランス評価等に関する委員会 (2023.1.24) 資料5

[https://www.occto.or.jp/iinkai/chouseiryoku/2022/chousei\\_jukyu\\_81\\_haifu.html](https://www.occto.or.jp/iinkai/chouseiryoku/2022/chousei_jukyu_81_haifu.html)

② 確認結果

各会員の需理想定の根拠や考え方の他、昨年度想定水準との差異、実績と想定の間向変化を適切に分析していることについて重点的に確認し、全ての供給区域需要の想定で妥当性を確認した。

特に、新型コロナウイルスの影響に関し、影響の継続見通しと用途別（家庭用その他・業務用・産業用その他）の想定結果の整合性について各会員から聴取を行った。

## 2. 全国及び供給区域ごとの需要想定取りまとめ結果について

### (1) 全国の需要想定

供給区域需要の想定の合計からなる全国の需要想定は以下の結果となった。

#### ① 最大需要電力

2032年度における全国の最大需要電力は159,179千kW（▲0.1%：2022～32年度平均増減率<sup>6</sup>）となり、2022年度供給計画最終年度（2031年度）断面で比較すると2,124千kW上回った。

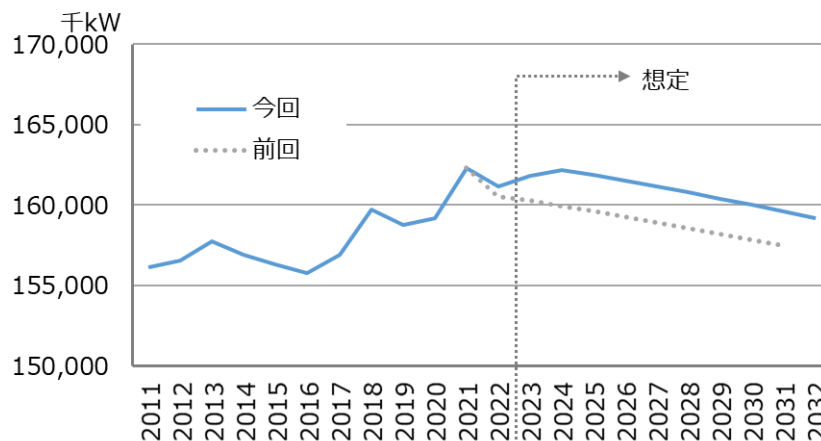


図1 最大需要電力全国合計（8月：送電端）（単位：千kW）

2022年度の夏季については、生産水準の回復の遅れや、在宅率の高まりによる影響の減少などにより、前年度実績（2021年度）から1,121千kW減（▲0.7%）となった。

2023・2024年度については経済活動の回復に伴い増加が続くものの、2025年度以降については、経済規模の拡大や電化の進展などの増加影響よりも、人口減少や省エネの進展などの影響が大きいことが見込まれ、2032年度まで減少が続くものと想定した。

#### ② 需要電力量（使用端）

2032年度における全国の需要電力量（使用端合計）は815,547百万kWh（▲0.2%）となり、2022年度供給計画最終年度（2031年度）断面で比較すると2,990百万kWh下回った。

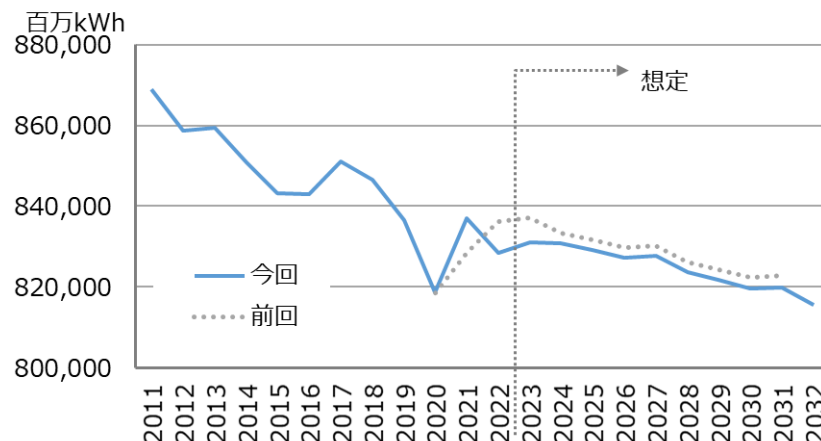


図2 需要電力量全国合計（使用端）（百万kWh）

<sup>6</sup> 以降、断りの無い限り括弧内に記載の増減率は2022～32年度平均増減率を示す。

2022年度については、生産水準の回復の遅れや、在宅率の高まりによる影響の減少などにより、前年度実績（2021年度）から8,556百万kWh減（▲1.0%）となった。

2023・2024年度以降については経済活動の回復に伴い増加が続くものの、2025年度以降については、経済規模の拡大や電化の進展などの増加影響よりも、人口減少や省エネの進展などの影響が大きいことが見込まれ、2032年度まで減少が続くものと想定した。

### ③ 需要電力量（家庭用その他）

2032年度における全国の需要電力量（家庭用その他）は285,017百万kWh（▲0.6%）となり、2022年度供給計画最終年度（2031年度）断面で比較すると778百万kWh下回った。

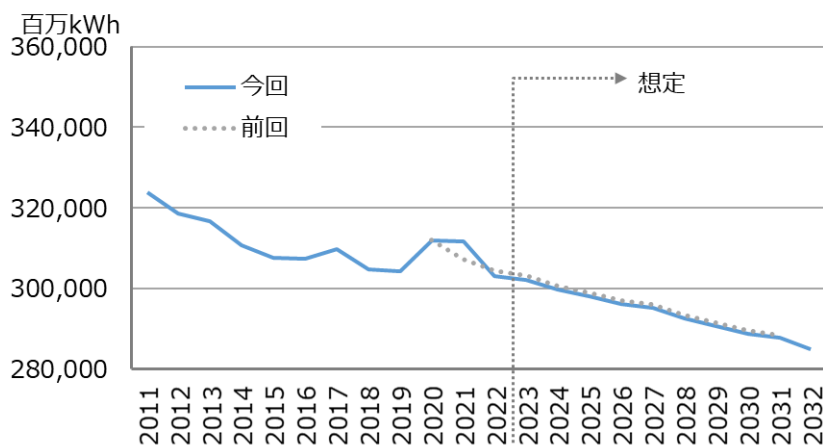


図3 需要電力量全国合計（家庭用その他）（百万 kWh）

2022年度については、在宅率の高まりによる影響の減少などにより、前年度実績（2021年度）から8,564百万kWh減（▲2.7%）となった。

2023年度以降についても、電化の進展などの増加影響よりも、人口減少や省エネの進展などの影響が大きいことが見込まれ、2032年度まで減少が続くものと想定した。

### ④ 需要電力量（業務用）

2032年度における全国の需要電力量（業務用）は198,736百万kWh（+0.0%）となり、2022年度供給計画最終年度（2031年度）断面で比較すると1,109百万kWh下回った。

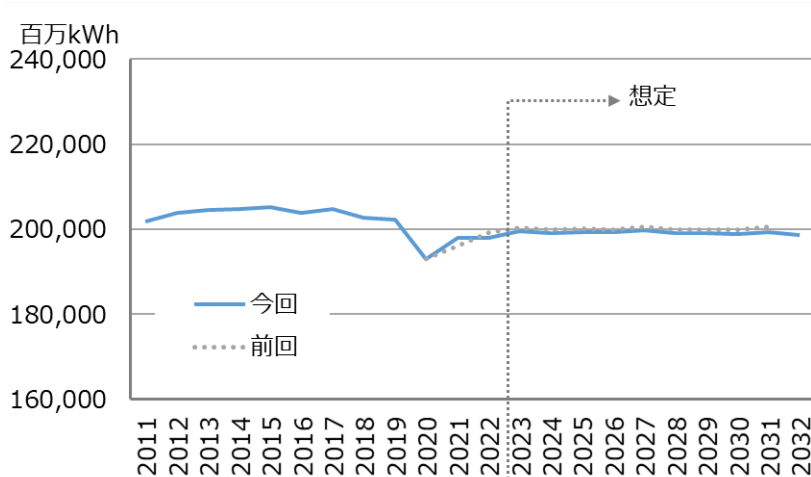


図4 需要電力量全国合計（業務用）（百万 kWh）

2022年度については、経済活動の回復の遅れなどにより、前年度実績（2021年度）から63百万kWh減（▲0.0%）となった。

2023・2024年度については経済活動の回復に伴い増加が続き、2025年度以降については、経済規模の拡大や電化の進展などの増加影響と、人口減少や省エネの進展などの減少影響が拮抗することが見込まれ、2032年度までほぼ同水準で推移するものと想定した。

⑤ 需要電力量（産業用その他）

2032年度における全国の需要電力量（産業用その他）は331,794百万kWh（+0.1%）となり、2022年度供給計画最終年度（2031年度）断面で比較すると1,103百万kWh下回った。

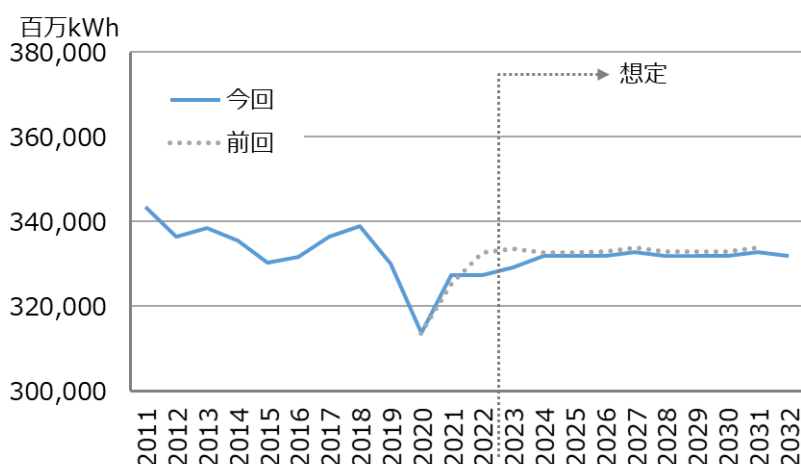


図5 需要電力量全国合計（産業用その他）（百万kWh）

2022年度については、生産水準の回復の遅れなどにより、前年度実績（2021年度）から69百万kWh増（+0.0%）となった。

2023・2024年度については生産水準の回復に伴い増加が続き、2025年度以降については、自動車や電子部品、機能性の高い素材など世界シェアの高い製品の生産拡大などの増加影響と、国内生産拠点の整理統合や省エネの進展などの減少影響が拮抗することが見込まれ、2032年度までほぼ同水準で推移するものと想定した。

表1 全国の需要想定結果<sup>7</sup>

年度	想定										平均 増減率 2022 ~2032
	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	
最大需要電力(送電端)	161,821	162,200	161,897	161,524	161,132	160,778	160,406	160,003	159,582	159,179	▲ 0.1
年負荷率	61.5	61.5	61.5	61.5	61.5	61.5	61.5	61.5	61.5	61.5	-
需要電力量合計(送電端)	873,537	873,292	871,640	869,618	870,011	865,673	863,672	861,482	861,753	857,189	▲ 0.2
需要電力量合計(需要端)	832,048	831,882	830,320	828,406	828,796	824,679	822,788	820,722	821,000	816,665	▲ 0.2
需要電力量合計(使用端)	830,930	830,765	829,202	827,288	827,676	823,561	821,670	819,604	819,880	815,547	▲ 0.2
家庭用その他	302,244	299,784	298,032	296,235	295,216	292,600	290,744	288,847	287,738	285,017	▲ 0.6
業務用	199,459	199,187	199,329	199,199	199,690	199,104	199,077	198,963	199,392	198,736	0.0
産業用その他	329,226	331,793	331,841	331,854	332,770	331,857	331,850	331,795	332,750	331,794	0.1

(注)表中の単位は、最大需要電力では千kW、需要電力量では百万kWh、年負荷率では%

<sup>7</sup> 本文掲載以外の想定値については、巻末の別添2の各表を参照されたい。

(2) 供給区域ごとの需要想定

全国の需要想定の内訳となる供給区域ごとの需要想定について、対象項目別の想定結果を以下に示す。

① 最大需要電力

2022年度と2032年度の需要を比較した際の特徴としては、人口増加の影響や、2022年度夏季の需要実績の反映などにより、北海道、東京、沖縄の需要が増加していることが挙げられる

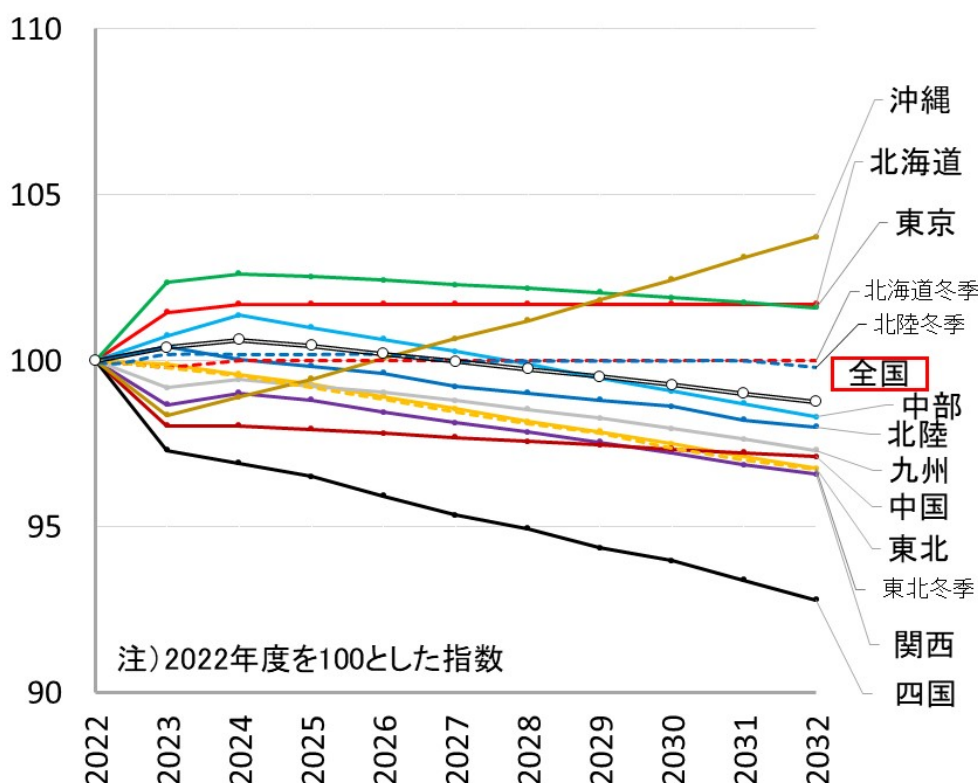


図6 供給区域ごとの最大需要電力の比較 (送電端：2022年度を100とした指数)

表2 最大需要電力 (送電端) (千 kW)

年度	想定										平均 増減率 2022 ~2032	
	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032		
夏季	北海道	4,160	4,170	4,170	4,170	4,170	4,170	4,170	4,170	4,170	4,170	0.2
	東北	13,380	13,340	13,300	13,250	13,200	13,150	13,110	13,060	13,010	12,960	▲ 0.3
	東京	54,990	55,140	55,090	55,030	54,960	54,900	54,830	54,750	54,670	54,590	0.2
	中部	24,550	24,700	24,610	24,520	24,430	24,340	24,240	24,140	24,050	23,950	▲ 0.2
	北陸	4,950	4,930	4,920	4,910	4,890	4,880	4,870	4,860	4,840	4,830	▲ 0.2
	関西	27,410	27,510	27,450	27,350	27,260	27,180	27,100	27,010	26,910	26,830	▲ 0.3
	中国	10,430	10,430	10,418	10,405	10,393	10,380	10,368	10,355	10,343	10,330	▲ 0.3
	四国	4,970	4,950	4,930	4,900	4,870	4,850	4,820	4,800	4,770	4,740	▲ 0.7
	九州	15,370	15,410	15,380	15,350	15,310	15,270	15,230	15,180	15,130	15,080	▲ 0.3
	沖縄	1,611	1,620	1,629	1,639	1,649	1,658	1,668	1,678	1,689	1,699	0.4
全国	161,821	162,200	161,897	161,524	161,132	160,778	160,406	160,003	159,582	159,179	▲ 0.1	
冬季	北海道	4,980	4,990	4,990	4,990	4,990	4,990	4,990	4,990	4,990	4,990	0.0
	東北	13,690	13,660	13,610	13,560	13,510	13,460	13,420	13,360	13,310	13,270	▲ 0.3
	北陸	5,180	5,180	5,180	5,180	5,170	5,170	5,170	5,170	5,170	5,160	▲ 0.0



② 需要電力量（使用端合計および需要区分ごと）

2022年度と2032年度の需要を比較した際の特徴としては、用途ごとに以下が挙げられる。

(i) 家庭用その他

沖縄は主に人口増加の影響による需要増を織り込んでいる。

(ii) 業務用

北海道は新幹線の札幌延伸を見据えた再開発計画等による需要増を織り込んでいる。また、沖縄は人口や観光客数の増加を背景とした商業・宿泊施設の増加等による需要増を織り込んでいる。

(iii) 産業用その他

北海道は2031年度以降に北海道新幹線の札幌延伸による需要増を織り込んでいる。

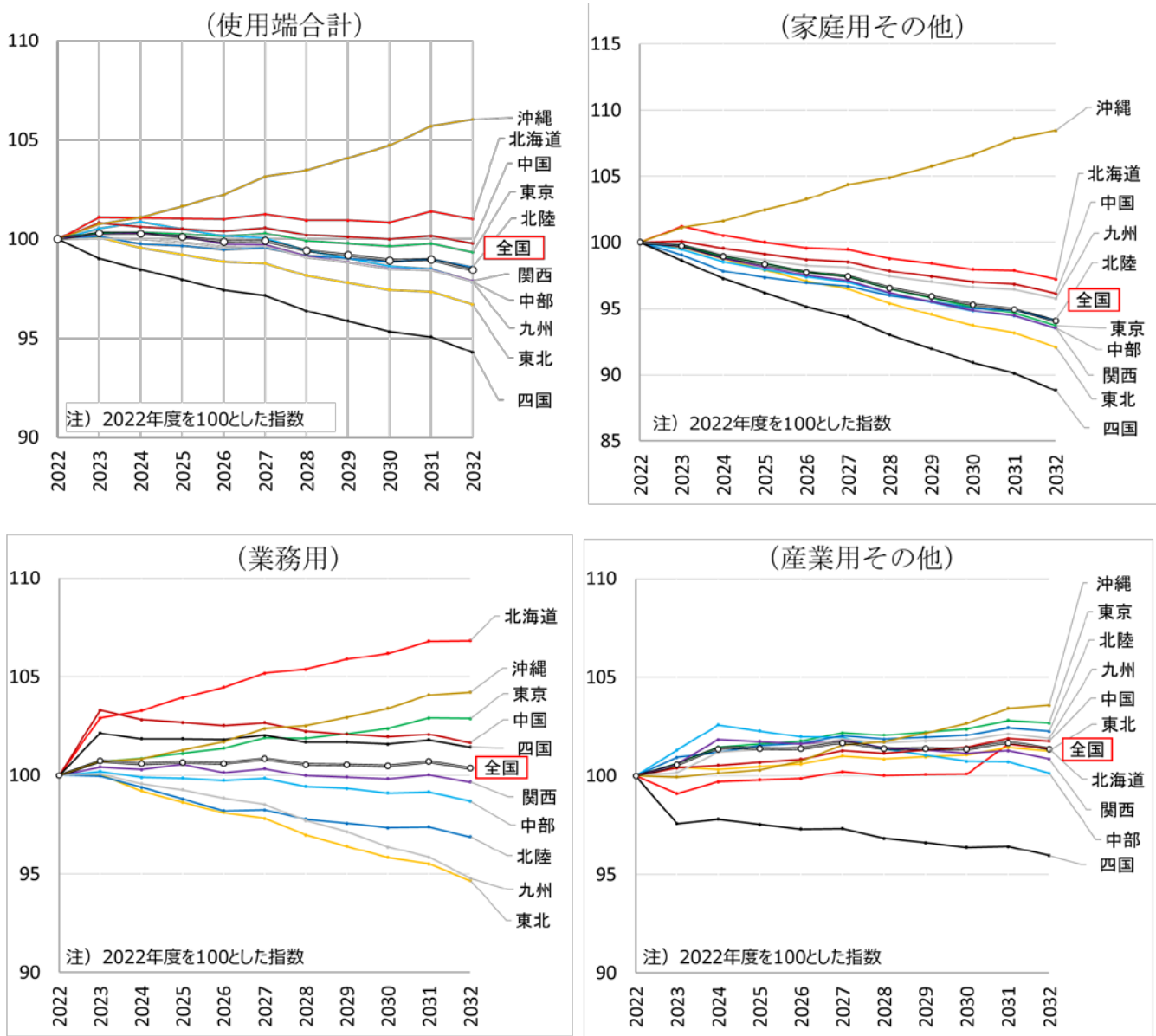


図7 供給区域ごとの需要電力量の比較  
(使用端合計および需要区分ごと：2022年度を100とした指数)

表3 需要電力量（使用端）（百万 kWh）

年度	想定										平均 増減率 2022 ~2032
	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	
北海道	28,682	28,670	28,660	28,654	28,726	28,637	28,637	28,607	28,764	28,659	0.1
東北	77,692	77,287	77,018	76,749	76,686	76,198	75,918	75,638	75,562	75,071	▲ 0.3
東京	266,343	266,396	266,153	265,839	266,261	265,210	264,864	264,500	264,841	263,716	▲ 0.1
中部	126,829	127,247	126,802	126,355	126,206	125,405	124,928	124,420	124,261	123,420	▲ 0.2
北陸	27,332	27,227	27,199	27,147	27,176	27,066	27,031	26,984	27,023	26,910	▲ 0.1
関西	133,323	133,454	133,183	132,676	132,639	131,877	131,480	131,049	130,975	130,188	▲ 0.2
中国	56,716	56,600	56,541	56,481	56,576	56,363	56,302	56,244	56,337	56,124	▲ 0.0
四国	24,954	24,815	24,683	24,551	24,484	24,286	24,158	24,023	23,956	23,759	▲ 0.6
九州	81,236	81,221	81,072	80,899	80,915	80,487	80,272	80,009	79,957	79,469	▲ 0.2
沖縄	7,823	7,848	7,891	7,937	8,007	8,032	8,080	8,130	8,204	8,231	0.6
全国	830,930	830,765	829,202	827,288	827,676	823,561	821,670	819,604	819,880	815,547	▲ 0.2

表4 家庭用その他

年度	想定		
	2023	2024	2032
北海道	12,817	12,728	12,308
東北	27,173	26,940	25,122
東京	100,332	99,550	94,239
中部	38,843	38,485	36,526
北陸	9,058	8,947	8,610
関西	48,545	48,113	45,553
中国	19,726	19,625	18,955
四国	10,064	9,922	9,062
九州	32,118	31,888	30,816
沖縄	3,568	3,586	3,826
全国	302,244	299,784	285,017

表5 業務用

年度	想定		
	2023	2024	2032
北海道	8,038	8,068	8,345
東北	15,787	15,655	14,937
東京	76,567	76,685	78,223
中部	21,872	21,804	21,542
北陸	4,889	4,861	4,739
関西	34,255	34,217	33,993
中国	10,755	10,707	10,584
四国	5,701	5,684	5,661
九州	18,686	18,593	17,701
沖縄	2,909	2,913	3,011
全国	199,459	199,187	198,736

表6 産業用その他

年度	想定		
	2023	2024	2032
北海道	7,827	7,874	8,006
東北	34,732	34,692	35,012
東京	89,444	90,161	91,254
中部	66,114	66,958	65,352
北陸	13,385	13,419	13,561
関西	50,523	51,124	50,642
中国	26,235	26,268	26,585
四国	9,189	9,209	9,036
九州	30,432	30,740	30,952
沖縄	1,345	1,348	1,394
全国	329,226	331,793	331,794



### 3. まとめ（概要）

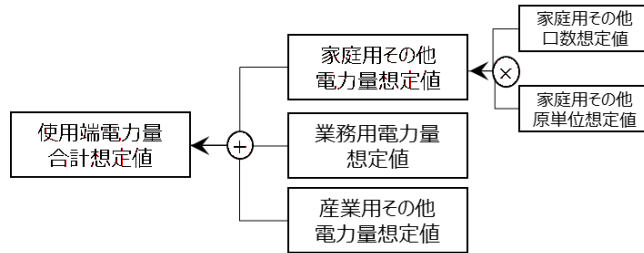
全国の 2032 年度における最大需要電力は 159,179 千 kW（▲0.1%：2022～32 年度平均増減率）、需要電力量（使用端）は 815,547 百万 kWh（▲0.2%）となり、一般送配電事業者たる会員が昨年届け出た 2022 年度供給計画の最終年度（2031 年度）に比べ、最大需要電力は 2,124 千 kW の上方修正、需要電力量（使用端）は 2,990 百万 kWh の下方修正となった。

なお、新型コロナウイルスの影響についてはワクチンや経口治療薬の普及が進む一方で新たな変異株の拡大など不確定要素も残っており、その動向によっては実際の需要が本想定と異なる水準となる可能性に留意が必要である。

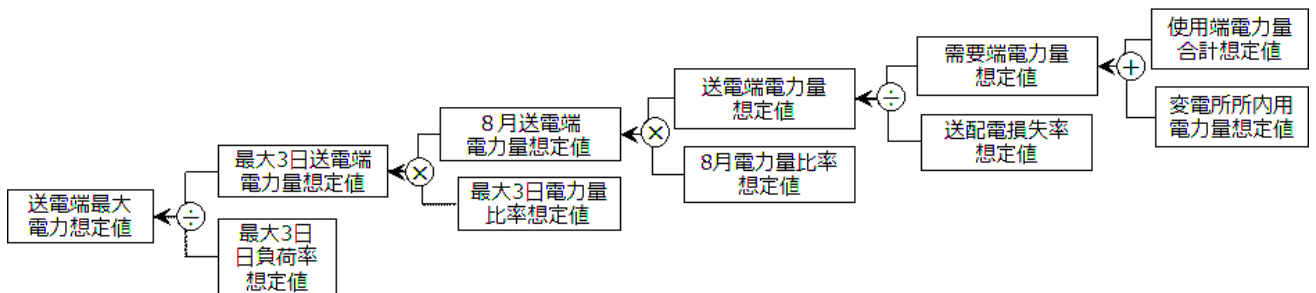
また、新型コロナウイルス以外の影響要素として、電気事業を取り巻く環境変化に伴う省エネや電化の推進などが挙げられ、これらの需要想定への反映について引き続き検討が必要であると認識している。

### 別添1. 需要想定フロー及び供給区域ごとの需要想定方法

需要想定フロー及び供給区域ごとの需要想定方法は以下のとおりである。



別添図1 需要電力量（使用端）の想定フロー



別添図2 最大需要電力（送電端）の主な想定フロー（日負荷率による想定の場合）

別添表1 供給区域ごとの需要想定方法

		2023年度及び2024年度(短期)					2032年度(長期)																																																																																						
		需要電力量(使用端)			最大需要電力		需要電力量(使用端)			最大需要電力																																																																																			
		家庭用その他		業務用	産業用その他	8月	1月	家庭用その他		業務用	産業用その他	8月	1月																																																																																
		口数	原単位					口数	原単位																																																																																				
北海道	人口/一口当たり人口 時系列			GDP原単位	IIP	日負荷率	日負荷率				IIP	日負荷率																																																																																	
東北				GDP人口	時系列									日負荷率	日負荷率						IIP	日負荷率																																																																							
東京				GDP時系列	IIP時系列																			日負荷率	日負荷率						IIP	日負荷率																																																													
中部				GDP時系列	IIP																													日負荷率	日負荷率						IIP	日負荷率																																																			
北陸				時系列	<u>個社動向・直近実績等</u>																																							日負荷率	日負荷率						IIP	日負荷率																																									
関西				GDP時系列	IIP時系列																																																	日負荷率	日負荷率						IIP	日負荷率																															
中国				時系列	IIP																																																											日負荷率	日負荷率						IIP	日負荷率																					
四国				GDP時系列	IIP時系列																																																																					日負荷率	日負荷率						IIP	日負荷率											
九州				GDP原単位	IIP																																																																															日負荷率	日負荷率						IIP	日負荷率	
沖縄				時系列	<u>時系列</u>																																																																																								

(注) 1. 経済指標（GDP等）と時系列の両方の記載がある箇所は、重回帰による想定  
 2. 下線箇所は、経済指標や時系列の回帰式以外に個社動向を織り込み想定



別添表3 需要電力量(使用端)用途別

(百万kWh)

		年度	想定			
			2023	2024	2032	
需要電力量 (使用端)	家庭用 その他	北海道	12,817	12,728	12,308	
		東北	27,173	26,940	25,122	
		東京	100,332	99,550	94,239	
		中部	38,843	38,485	36,526	
		北陸	9,058	8,947	8,610	
		関西	48,545	48,113	45,553	
		中国	19,726	19,625	18,955	
		四国	10,064	9,922	9,062	
		九州	32,118	31,888	30,816	
		沖縄	3,568	3,586	3,826	
		全国	302,244	299,784	285,017	
		業務用	北海道	8,038	8,068	8,345
			東北	15,787	15,655	14,937
	東京		76,567	76,685	78,223	
	中部		21,872	21,804	21,542	
	北陸		4,889	4,861	4,739	
	関西		34,255	34,217	33,993	
	中国		10,755	10,707	10,584	
	四国		5,701	5,684	5,661	
	九州		18,686	18,593	17,701	
	沖縄		2,909	2,913	3,011	
	全国		199,459	199,187	198,736	
	産業用 その他	北海道	7,827	7,874	8,006	
		東北	34,732	34,692	35,012	
		東京	89,444	90,161	91,254	
		中部	66,114	66,958	65,352	
		北陸	13,385	13,419	13,561	
		関西	50,523	51,124	50,642	
		中国	26,235	26,268	26,585	
		四国	9,189	9,209	9,036	
		九州	30,432	30,740	30,952	
		沖縄	1,345	1,348	1,394	
		全国	329,226	331,793	331,794	

注)1. 本資料は需要想定調査提出データを集約したもの。2. 端数処理の関係で合計と一致しない場合がある。



		2023年度(想定:第1年度)												
		(百万kWh, 千kW)												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
最大需要電力 (送電端)	北海道	3,970	3,550	3,560	4,090	4,160	3,870	3,900	4,440	4,810	4,980	4,950	4,530	
	東北	10,850	10,120	10,840	13,120	13,380	11,800	10,330	11,610	13,050	13,690	13,650	12,290	
	東京	38,460	37,170	42,810	54,990	54,990	46,500	38,270	40,200	44,690	48,840	48,840	43,370	
	中部	17,990	18,070	20,190	24,550	24,550	22,080	18,790	19,020	21,590	23,420	23,420	20,500	
	北陸	3,860	3,515	4,040	4,950	4,950	4,380	3,725	4,100	4,755	5,180	5,180	4,520	
	関西	17,976	18,279	21,166	27,410	27,410	23,139	18,904	19,136	23,492	25,180	25,180	21,145	
	中国	7,570	7,470	8,350	10,430	10,430	9,310	7,700	8,360	10,130	10,370	10,370	9,020	
	四国	3,340	3,420	3,860	4,970	4,970	4,250	3,690	3,700	4,580	4,580	4,580	3,950	
	九州	10,000	10,480	12,030	15,370	15,370	13,200	11,090	11,520	13,930	14,540	14,540	12,230	
	沖縄	1,070	1,303	1,556	1,582	1,611	1,598	1,381	1,179	1,005	1,086	1,031	979	
	全国	115,086	113,377	128,402	161,462	161,821	140,127	117,780	123,265	142,032	151,866	151,741	132,534	
	需要電力 量合計 (送電端)	北海道	2,365	2,189	2,088	2,292	2,370	2,163	2,310	2,555	3,100	3,200	2,969	2,872
		東北	6,461	5,734	6,149	6,796	6,711	6,061	6,074	6,660	8,022	8,314	8,014	7,392
		東京	20,522	20,307	21,375	24,791	25,671	22,253	21,185	21,613	25,362	26,865	24,992	23,872
中部		9,874	9,488	10,246	11,911	11,960	10,886	10,319	10,357	11,849	12,463	11,884	11,469	
北陸		2,293	2,013	2,171	2,428	2,409	2,223	2,089	2,247	2,672	2,882	2,632	2,529	
関西		10,305	10,139	10,803	12,854	13,468	11,385	10,615	10,684	12,496	13,588	12,414	11,821	
中国		4,416	4,397	4,547	5,227	5,387	4,699	4,527	4,764	5,589	5,755	5,461	5,153	
四国		1,956	1,924	2,019	2,371	2,435	2,102	2,006	2,037	2,381	2,529	2,355	2,243	
九州		6,259	6,219	6,646	7,859	8,020	6,966	6,471	6,623	7,814	8,161	7,479	7,034	
沖縄		568	640	769	898	877	797	698	592	598	603	553	578	
全国		65,019	63,050	66,813	77,427	79,308	69,535	66,294	68,132	79,883	84,360	78,753	74,963	
合計		北海道	2,440	2,207	1,947	2,135	2,179	2,085	2,106	2,281	2,660	3,155	2,784	2,703
		東北	6,576	5,747	6,564	6,079	6,364	6,003	5,632	6,017	6,838	7,939	7,609	7,234
		東京	21,073	19,341	20,216	22,541	24,283	23,198	20,511	19,974	21,967	24,900	25,048	23,291
	中部	10,243	9,248	9,813	10,663	11,393	11,173	9,914	9,698	10,345	11,351	11,827	11,161	
	北陸	2,258	2,037	2,090	2,246	2,318	2,212	1,988	2,089	2,370	2,672	2,564	2,488	
	関西	10,914	9,404	9,987	11,197	12,266	12,145	10,244	9,947	10,852	11,901	12,765	11,701	
	中国	4,628	4,140	4,187	4,626	5,014	4,841	4,330	4,322	4,770	5,446	5,310	5,102	
	四国	1,952	1,839	1,888	2,137	2,289	2,076	1,911	1,843	2,060	2,443	2,241	2,275	
	九州	6,400	5,875	6,140	6,839	7,698	7,298	6,417	6,151	6,593	7,411	7,496	6,918	
	沖縄	559	570	664	763	855	822	718	629	565	605	537	537	
	全国	67,043	60,408	62,586	69,226	74,659	71,853	63,771	62,951	69,020	77,823	78,181	73,410	
	家庭用 その他	北海道	1,198	1,006	764	820	856	844	834	976	1,181	1,670	1,361	1,307
		東北	2,584	1,944	1,569	1,765	2,020	1,851	1,646	1,981	2,473	3,388	3,124	2,828
		東京	8,109	6,648	6,389	7,540	8,739	8,392	6,949	6,962	8,543	11,245	11,087	9,729
中部		3,304	2,534	2,474	2,729	3,474	3,319	2,581	2,685	3,283	4,216	4,435	3,809	
北陸		829	645	554	556	674	654	554	650	837	1,112	1,034	959	
関西		4,200	2,969	3,131	3,582	4,283	4,432	3,099	3,330	4,138	4,967	5,728	4,686	
中国		1,731	1,316	1,189	1,356	1,639	1,595	1,281	1,378	1,724	2,342	2,181	1,994	
四国		802	704	611	725	913	817	676	690	833	1,192	1,046	1,055	
九州		2,591	2,126	2,149	2,451	3,048	2,790	2,207	2,248	2,715	3,392	3,467	2,934	
沖縄		249	247	297	355	408	395	322	267	244	297	243	243	
全国		25,597	20,139	19,127	21,879	26,054	25,089	20,149	21,167	25,971	33,821	33,706	29,544	
業務用		北海道	624	590	578	634	670	593	614	667	779	804	748	737
		東北	1,252	1,097	1,154	1,284	1,356	1,263	1,128	1,208	1,449	1,584	1,554	1,458
		東京	5,870	5,653	6,149	6,844	7,548	6,992	6,062	5,765	6,156	6,591	6,687	6,250
	中部	1,677	1,582	1,694	1,927	2,188	2,071	1,748	1,621	1,709	1,899	1,945	1,811	
	北陸	346	347	368	457	486	399	360	366	439	465	437	419	
	関西	2,602	2,406	2,626	3,064	3,482	3,338	2,821	2,544	2,640	2,923	2,974	2,835	
	中国	826	745	841	940	1,070	1,011	829	784	859	973	968	909	
	四国	389	405	461	570	582	485	429	413	495	524	486	462	
	九州	1,398	1,307	1,420	1,641	1,926	1,870	1,592	1,399	1,397	1,580	1,639	1,517	
	沖縄	205	215	250	287	321	304	279	249	212	203	194	193	
	全国	15,189	14,347	15,541	17,648	19,629	18,326	15,862	15,016	16,135	17,546	17,632	16,591	
	産業用 その他	北海道	618	611	605	681	653	648	658	638	700	681	675	659
		東北	2,740	2,706	2,931	3,030	2,988	2,889	2,858	2,828	2,916	2,967	2,931	2,948
		東京	7,094	7,040	7,678	8,157	7,996	7,814	7,500	7,247	7,268	7,064	7,274	7,312
中部		5,262	5,132	5,645	6,007	5,731	5,783	5,585	5,392	5,353	5,236	5,447	5,541	
北陸		1,083	1,045	1,168	1,233	1,158	1,159	1,074	1,073	1,094	1,095	1,093	1,110	
関西		4,112	4,029	4,230	4,551	4,501	4,375	4,324	4,073	4,074	4,011	4,063	4,180	
中国		2,071	2,079	2,157	2,330	2,305	2,235	2,220	2,160	2,187	2,131	2,161	2,199	
四国		761	730	816	842	794	774	806	740	732	727	709	758	
九州		2,411	2,442	2,571	2,747	2,724	2,638	2,618	2,504	2,481	2,439	2,390	2,467	
沖縄		105	108	117	121	126	123	117	113	109	105	100	101	
全国		26,257	25,922	27,918	29,699	28,976	28,438	27,760	26,768	26,914	26,456	26,843	27,275	

②供給区域需要想定(第2年度 月別詳細)

		2024年度(想定:第2年度)											
		(千kW)											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
最大需要電力 (送電端)	北海道	3,980	3,560	3,570	4,100	4,170	3,880	3,910	4,450	4,820	4,990	4,960	4,540
	東北	10,810	10,090	10,800	13,080	13,340	11,770	10,310	11,580	13,020	13,660	13,620	12,260
	東京	38,590	37,300	42,960	55,140	55,140	46,650	38,390	40,330	44,800	48,950	48,950	43,490
	中部	18,090	18,180	20,310	24,700	24,700	22,210	18,900	19,130	21,720	23,560	23,560	20,620
	北陸	3,845	3,500	4,025	4,930	4,930	4,360	3,725	4,100	4,755	5,180	5,180	4,520
	関西	18,316	18,623	21,566	27,510	27,510	23,576	19,260	19,498	23,936	25,270	25,270	21,543
	中国	7,570	7,470	8,350	10,430	10,430	9,310	7,700	8,360	10,130	10,370	10,370	9,020
	四国	3,330	3,420	3,850	4,950	4,950	4,240	3,680	3,690	4,560	4,560	4,560	3,940
	九州	10,020	10,510	12,060	15,410	15,410	13,230	11,120	11,550	13,970	14,580	14,580	12,260
	沖縄	1,076	1,311	1,565	1,591	1,620	1,607	1,388	1,186	1,011	1,092	1,037	985
	全国	115,627	113,964	129,056	161,841	162,200	140,833	118,383	123,874	142,722	152,212	152,087	133,178

注1. 本資料は需要想定調査提出データを集約したもの。2. 最大需要電力は千kW、需要電力量は百万kWhの単位。3. 端数処理の関係で合計と一致しない場合がある。

### 別添3. 定義

本報告書で使用している用語の定義は以下のとおりである。

① 使用端電力量

一般の需要に応じて一般送配電事業者の流通設備を通じて供給される電力量。

② 需要端電力量

使用端電力量に一般送配電事業者の変電所所内用電力量を加えたもの。

③ 送電端電力量

需要端電力量または使用端電力量に送配電損失量※を加えたもの。もしくは、発電端電力量から発電所所内用電力量を差し引いたもの。

※需要端電力量に加える送配電損失量は、一般送配電事業者の変電所所内用電力量を含まない。

④ 発電端電力量

発電所の発生電力端の電力量。

⑤ 最大需要電力

ある月について1時間の最大需要電力を上位から3日採り、それを平均したものの内、年間で最大となるもの。なお、夏季（8月）の想定を基本としているが、冬季に最大需要電力が発生するものと想定する地域においては、夏季に加え冬季の最大需要電力も想定している。

⑥ 負荷率

一定期間中の最大需要電力に対する平均電力（一定期間の電力量をその期間の総時間で除したもの。期間の採り方により日・月・年平均電力等がある）の比率で、負荷の特性を表すもの。

⑦ 供給区域需要

一般送配電事業者の各供給区域において、小売電気事業者、一般送配電事業者及び登録特定送配電事業者が一般送配電事業者の流通設備に接続する一般の需要に応じて供給する電気の量。

なお、電気事業法の一部を改正する法律（平成26年6月11日成立、以下「改正電気事業法」という）第二条第一項第五号ロに掲げる接続供給により供給されるものがある場合、当該電気の量は各供給地点が属する供給区域需要に区分する。

⑧ 平均増減率

計算期間における年間の平均増減率を表す。（複利計算の利率と同様。）

⑨ 需要区分

使用端電力量を用途に応じて区分に分けたもの。

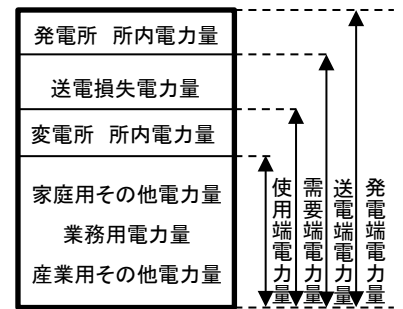
⑩ 家庭用その他

低圧により受電する需要とする。

⑪ 業務用、産業用その他

特別高圧・高圧により受電する需要とし、業務用と産業用その他に区分する。

（注）改正電気事業法第二条第一項第五号ロに掲げる接続供給により供給されるものがある場合、当該分は家庭用その他、業務用または産業用その他いずれかの需要区分に含む。



#### 別添 4. 需要想定要領の見直し経緯（概要）

本機関は、電力システム改革の進展に合わせて適時、需要想定要領の見直しを行っており、2019年以降において見直しを行った内容について、その概要を以下に記す。

- ・ 2019年7月1日変更

適切な供給力の確保に向けて、2024年度実需給向けに開設される容量市場の初回オークションが2020年度に実施されたことから、その基礎となる需要想定についても、説明性の向上等の観点から供給区域間で不整合とならないよう想定方法の考え方を改めて整理し、基本的な想定方法を定めるとともに手法等を具体的に記載した。

- ・ 2020年7月9日変更

2024年度に容量市場が開設されるまでの間、小売電気事業者が確保する供給力が不足した場合、一般送配電事業者が代わりに供給力を調達することが出来るようにするため、供給力が不足する時期・量をきめ細かく算定すべく、対象となる供給計画第2年度について、最大需要電力（送電端）の想定を月別に実施することを定めた。

- ・ 2022年4月1日変更

配電事業ライセンス創設に伴い、配電事業者が事業エリアの需要想定を行う必要が生じたことから、需要想定の実施主体に配電事業者を追加した。